

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	文化財課
-----	------

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策番号	16	施策名	歴史文化財の保存と継承・展開
当該施策の目指す姿	文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)		
	事務事業名	市史編纂事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます		
1,732	・市史編集委員会および専門部会を設置し、編さん事業の組織・体制を整備するとともに、基本方針をより具体化するため、共通した編さん方針や調査・研究の方向性等を審議する。 ・大和五位堂鋳物師資料の調査及び保存の措置を継続して実施する。また、大学及び研究機関との共同調査・研究を進め、市史への基礎資料とするとともに、展覧会等を通じて市史編さん事業の進捗状況を市民に周知する。  ・市史編さん委員会等事務 ・郷土資料の整理、研究事業 ・郷土資料の収集、調査事業	・市史編さん委員会・編集委員会の定期的な開催  ・スケジュールの管理 (人員、全体スケジュール等)  ・資 (史) 料の収集、調査  ・市史編さん事業の広報・周知活動	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での变化 (波及的効果・影響) *事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい		文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。		
					上記を測るアウトカム指標の候補			上記を測るアウトカム指標の候補	
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
			現状値 (R5)	「市史編さんだより」による広報回数 関連講座の開催回数	— —	関連講座の参加人数		— —	『香芝市史』の頒布冊数 市民アンケートにおける市史編纂事業への認知・理解度
目標値 (R10)	「市史編さんだより」による広報回数 関連講座の開催回数	年5回以上 年1回以上	関連講座の参加人数	50人					
目標値 (R14)	「市史編さんだより」による広報回数 関連講座の開催回数	年5回以上 年1回以上	関連講座の参加人数	80人	『香芝市史』の頒布冊数 市民アンケートにおける市史編纂事業への認知・理解度	300冊 75%			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	商工観光課
-----	-------

政策番号	4	政策名	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策番号	17	施策名	商工業の振興
当該施策の目指す姿	商工業の活性化によって、市内で「住む」だけでなく、「働き、消費する」という好循環が生み出されている。		
現行の施策の主な取り組み	①企業の活性化 ②創業の促進		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)	
			1次アウトカム		2次アウトカム			
	事務事業名	企業支援事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
51,472	<p><b>・企業立地推進補助金</b> 企業立地に対し、事業所設置や従業員の新規雇用に必要な費用の一部、及び固定資産税額を補助する。</p> <p><b>・設備投資促進補助金</b> 競争力の強化や技術力の向上に取り組む事業者の設備投資を支援する。</p> <p><b>・商品開発・販路開拓等支援事業補助金</b> 新商品の開発や販路開拓などを行う事業者を支援する。</p> <p><b>・融資制度</b> 制度利用者に対し、利子の一部を補助する。また、利用者が信用保証協会に対して支払う信用保証料の7割相当分を市が負担する。</p> <p><b>・かしば産業展</b> 市内事業者による子ども向けの職業体験等とおして、市内企業をPRする。</p> <p><b>・地域ブランド「Kashiba+」</b> 商工会と連携して、市内の特産品等を香芝のブランドとして認定し、庁舎及び市内商業施設等においてPRを実施することで、認知度向上に取り組む。</p>	企業立地推進条例に基づく事業計画の認定申請件数	立地する企業が増える	企業が新たな人材を雇用する	企業立地推進補助金を利用した事業者の新規雇用者数	0人		
		商工振興施策案内パンフレットの配布数	各種補助金の申請件数が増える	企業の収益が向上する	「企業支援・創業支援」の取組が進んでいると感じる市民の割合の増加 (市民アンケート)	60,104円		
		商品開発・販路開拓等支援事業補助金の交付申請件数	商品の販路が拡大する	市内で就職したい人が増える	地域ブランド認定件数が増える	17,999人		
		融資制度利用者の融資受付件数	融資を利用し、経営が安定化する	ふるさと納税額が増える	地域ブランド認定件数が増える	17,999人		
		かしば産業展の実施	かしば産業展の出展希望者が増え、市内企業の認知度が向上する	地産地消が促される	ふるさと納税額が増える	17,999人		
地域ブランドのPR回数	地域ブランドの認知度が向上する							
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			
			事業所数 補助金の申請件数 制度融資利用件数 かしば産業展の出展希望者数 かしば産業展の来場者数 補助金を活用した事業者の展示会等における商談件数	企業立地推進補助金を利用した事業者の新規雇用者数 「企業支援・創業支援」の取組が進んでいると感じる市民の割合の増加 (市民アンケート) 地域ブランド認定件数 ふるさと納税の増加額 市内就業率 市内従業員数				
			設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		
	現状値 (R5)	事業計画認定件数 パンフレット配布数 融資受付件数	2件 400枚 49件	事業所数 補助金の申請件数	1,979社 8件	企業立地推進補助金を利用した事業者の新規雇用者数 ふるさと納税増加額 市内従業員数	0人 60,104円 17,999人	
	目標値 (R10)	事業計画認定件数 パンフレット配布数 融資受付件数	7件 500枚 55件	事業所数 補助金の申請件数	2,000社 10件			
	目標値 (R14)	事業計画認定件数 パンフレット配布数 融資受付件数	11件 550枚 60件	事業所数 補助金の申請件数	2,020社 12件	企業立地推進補助金を利用した事業者の新規雇用者数 ふるさと納税増加額 市内従業員数	10人 100,000円 18,300人	

商工業の活性化によって、市内で「住む」だけでなく、「働き、消費する」という好循環が生み出されている。

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	商工観光課
-----	-------

政策番号	4	政策名	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策番号	17	施策名	商工業の振興
当該施策の目指す姿	商工業の活性化によって、市内で「住む」だけでなく、「働き、消費する」という好循環が生み出されている。		
		現行の施策の主な取り組み	①企業の活性化 ②創業の促進

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分					
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)					
	事務事業名	創業促進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム						
9,412	<p><b>・創業促進補助金</b> 市内で新たに創業を行う者に、事業の創出による地域経済の活性化及び発展につながることを目的に、その創業等に要する経費の一部に対し、予算の範囲内で補助する。</p> <p><b>・創業支援アドバイザー</b> 創業者のさまざまな経営課題のための診断や助言等を個別で行える専門家(中小企業診断士)を無料で派遣する。</p> <p><b>・香芝みらい塾</b> 香芝市商工会が開催する起業セミナー「香芝みらい塾」を支援する。</p> <p><b>・中小企業融資制度(創業支援資金)</b> これから新たに事業を営むもの、または事業開始から1年未満のものに利子補給を行う。</p>		<p>創業促進補助金の事業計画書の提出件数</p> <p>創業支援アドバイザー派遣制度の利用件数</p> <p>特定創業支援等事業による証明書の発行件数</p> <p>「香芝みらい塾」の運営費や活動の支援</p> <p>制度融資利用者への利子補給件数</p>		<p>事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象(間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい</p> <p>市内で創業する人の増加</p> <p>香芝みらい塾の受講者数</p>		<p>事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化(波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい</p> <p>新規企業が従業員を雇用し、働く場が創出される</p>		めざす姿と同じ内容が転記されます			
					上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			商工業の活性化によって、市内で「住む」だけでなく、「働き、消費する」という好循環が生み出されている。		
					市の各種制度を活用して創業した人数 香芝みらい塾の受講者数		「企業支援・創業支援」の取組が進んでいると感じる市民の割合の増加(市民アンケート)					
					設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値			設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
					現状値 (R5)	・創業促進補助金の事業計画書提出件数 ・特定創業支援等事業による証明書の発行件数 5件 13件	市の各種制度を活用して創業した人数 香芝みらい塾の受講者数 5人 9人				「企業支援・創業支援」の取組が進んでいると感じる市民の割合の増加(市民アンケート) 3%	
		目標値 (R10)	・創業促進補助金の事業計画書提出件数 ・特定創業支援等事業による証明書の発行件数 25件 20件	市の各種制度を活用して創業した人数 香芝みらい塾の受講者数 7人 15人								
		目標値 (R14)	・創業促進補助金の事業計画書提出件数 ・特定創業支援等事業による証明書の発行件数 40件 25件	市の各種制度を活用して創業した人数 香芝みらい塾の受講者数 8人 20人		「企業支援・創業支援」の取組が進んでいると感じる市民の割合の増加(市民アンケート) 10%						

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	農林課
-----	-----

政策番号	4	政策名	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策番号	18	施策名	農業の振興
当該施策の目指す姿	農地が適正に保全され、朝市等の利用により農業を身近に感じることができ、地産地消が浸透している。		
		現在の施策の主な取り組み	①農業体制の整備および市内農作物の魅力創造

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)	
					1次アウトカム			2次アウトカム
	事務事業名	農産物鳥獣被害防止事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
2,555	有害鳥獣による農作物被害が発生している地域を的確に把握し、 鳥獣を捕獲する猟友会との連携を図りながら対応を行います。		ワナの購入補助		ワナの増加	農作物被害減少	捕獲数増加	被害発生地区の拡大抑制
			狩猟免許の広報活動		狩猟者数増加			
					上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補	
					設置可能箱ワナ数	被害発生地区数		
					設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
	現状値 (R5)	広報活動の回数	1回	設置可能箱ワナ数	28	被害発生地区数	6	
	目標値 (R10)	広報活動の回数	2回	設置可能箱ワナ数	33			
	目標値 (R14)	広報活動の回数	3回	設置可能箱ワナ数	38	被害発生地区数	6	

農地が適正に保全され、朝市等の利用により農業を身近に感じることができ、地産地消が浸透している。

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	農林課
-----	-----

政策番号	4	政策名	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策番号	18	施策名	農業の振興
当該施策の目指す姿	農地が適正に保全され、朝市等の利用により農業を身近に感じることができ、地産地消が浸透している。		
		現行の施策の主な取り組み	①農業体制の整備および市内農作物の魅力創造

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)		
					1次アウトカム			2次アウトカム	
	事務事業名	地産地消推進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での变化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます	
1,024	100%香芝産の素材にこだわった農作物の生産拡大や販売の促進、市内学校給食での使用拡大に取り組みます。また、香芝産酒米の生産支援および香芝産酒のブランド化・販路拡大支援などを行います。		酒米農家への支援を行う		香芝産酒の生産量増加	酒米面積の増加	農地が適正に保全され、朝市等の利用により農業を身近に感じることができ、地産地消が浸透している。		
			地産地消推進に関する他課との連携実施		酒米農家の増加	耕作放棄地の減少			
					イベントでの香芝産農作物の使用回数	香芝産農作物の認知度上昇			
					上記を測るアウトカム指標の候補			上記を測るアウトカム指標の候補	
					イベントでの香芝産農作物の使用回数			香芝産農作物の認知度	
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
	現状値 (R5)	他課との連携実施回数	15回	イベントでの香芝産農作物の使用回数	2回	市民アンケートにおいて「香芝産農作物を食したことがある」と答えた人の割合 (%)	-		
	目標値 (R10)	他課との連携実施回数	20回	イベントでの香芝産農作物の使用回数	3回				
	目標値 (R14)	他課との連携実施回数	25回	イベントでの香芝産農作物の使用回数	4回	市民アンケートにおいて「香芝産農作物を食したことがある」と答えた人の割合 (%)	30%		

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	商工観光課
-----	-------

政策番号	4	政策名	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)	
施策番号	19	施策名	観光の振興	①観光情報の発信 ②観光資源の魅力向上
当該施策の目指す姿	既存の観光資源を活用し、観光を目的とした多くの人を訪れることで、まちのにぎわいが創出される。			

事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動成果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)	
				1次アウトカム		2次アウトカム			
4,080	事務事業名	観光資源魅力向上事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます	
	<p><b>・近隣市町村との協議会への参加</b> 「葛城地域観光協議会」「大和まほろば相撲連絡協議会」などの協議会に参加し、市内問わず市外に向け香芝市の魅力周知に繋げる。</p> <p><b>・観光地の整備事業</b> どんづる峯の新規ルートの開拓や整備、維持管理を行う。また、香芝市の観光名所に多言語対応の案内看板を設置する。</p> <p><b>・文化財観光アプリ・観光パンフレットの運営や配架</b> 市内観光資源の認知度向上のため、文化財・観光スポットを巡る観光アプリの運営・周知や、二上山マップなどの観光パンフレットを配架する。</p> <p><b>・葛城地域が有する観光資源を活用したイベント</b> 毎年4月23日に行われる「岳のぼり」を開催し、山登りを楽しみながら二上山の環境保全に繋げる。</p> <p><b>・かしばウォーク</b> 市内観光資源をPRするため、市内を巡るウォークイベントを開催する。また、カッシーグズを配布することで参加者数の増加を見込む。</p>			各種協議会への参加 観光パンフレットの配架 文化財観光アプリのダウンロード数 岳のぼりの参加者数 かしばウォークの参加者数	市外在住者に向けて香芝市の魅力認知の増加 観光地の整備に関する苦情が減少	市外からの観光客数の増加 観光客の満足度が向上する 安心安全に観光地を楽しむことができる	既存の観光資源を活用し、観光を目的とした多くの人を訪れることで、まちのにぎわいが創出される。		
				上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補				
				どんづる峯の整備 案内看板の設置・維持管理の件数	各種イベントでのアンケート調査による参加者の満足度 各種イベントでのアンケート調査で「満足」と回答した割合 SNSにおけるイベントに関する投稿、シェア、コメント数 広報活動の回数 イベントチラシの配布数	イベントの市内参加者数 イベントの市外参加者数 二上山の観光地来訪者数 香芝市における観光に関するアンケート調査			
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)
			現状値 (R5)	文化財観光ナビのダウンロード数 かしばウォーク参加者数 858件 340人	各種イベントでのアンケート調査による参加者の満足度	51%		香芝市における観光に関するアンケート調査	
			目標値 (R10)	文化財観光ナビのダウンロード数 かしばウォーク参加者数 1,400件 400人	各種イベントでのアンケート調査による参加者の満足度	55%			
			目標値 (R14)	文化財観光ナビのダウンロード数 かしばウォーク参加者数 1,800件 500人	各種イベントでのアンケート調査による参加者の満足度	60%	香芝市における観光に関するアンケート調査		

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

政策番号	5	政策名	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	所管名	危機管理課
施策番号	20	施策名	災害対策の強化	現行の施策の主な取り組み	①災害時緊急体制の確立 ②防災・減災対策の強化 ③消防団体制の充実 ④自主防災力の向上
当該施策の目指す姿	市民一人ひとりや地域、行政が一丸となって防災・減災に取り組むことで、災害に対する強靱な基盤ができています。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)
			1次アウトカム		2次アウトカム		めざす姿と同じ内容が転記されます
25,774	<b>事務事業名</b> 地域災害対策関連事業 ・防災会議及び分科会による地域防災計画の修正等の業務に係る庶務を実施する。 ・防災行政無線の同報系システム導入に向けて、施設整備の設計を実施する。 ・職員に対する防災研修を実施する。 ・自主防災組織が実施する「防災資機材等の整備」「防災士など防災リーダーとなる人材の育成事業」「防災訓練などの実施費用」などに対する補助金事業を行う。 ・出水期前に広報紙で防災に関する特集記事を掲載する。また、防災週間(8/30～9/5)に合わせ、市役所で啓発パネルの設置を行う。 ・市民に対する出前講座や訓練支援を実施する。	<b>取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果)</b> ＊取組の中で定量的に示せる事実を記載 地域防災計画の修正 (年1回) 職員向け防災研修の実施 (年1回以上) 防災行政無線の保守点検の実施 (年1回) 自主防災組織活動事業費補助金の周知 広報誌への防災特集記事の掲載 (年1回) 防災週間(8/30～9/5)に合わせた市役所での啓発パネルの設置 (年1回) 出前講座の実施	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) ＊事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) ＊事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	自主防災組織、関係機関等との連携体制の強化	市民一人ひとりや地域、行政が一丸となって防災・減災に取り組むことで、災害に対する強靱な基盤ができています。	
			地域防災計画の内容の充実	職員の災害対応能力の向上	災害時の情報伝達手段の充実		
			自主防災組織の活動活性化	市民の防災意識の向上			
			上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補			
			地域防災計画の修正 (年1回) 自主防災組織主催の防災訓練への協力回数 自主防災組織活動事業費補助金の補助件数	自主防災組織主催の防災訓練への協力回数 市民アンケートにおける「災害対策の充実」項目での満足度向上			
	設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
現状値 (R5)	地域防災計画の修正 (年1回) 職員向け防災研修の実施 (年1回以上) 広報誌への防災特集記事の掲載 (年1回) 防災週間(8/30～9/5)に合わせた市役所での啓発パネルの設置 (年1回)	1回 1回 1回 1回	地域防災計画の修正 (年1回) 自主防災組織主催の防災訓練への協力回数 自主防災組織活動事業費補助金の補助件数	1回 6回 20件	自主防災組織主催の防災訓練への協力回数 市民アンケートにおける「災害対策の充実」項目での満足度向上	6回 13回	
目標値 (R10)	地域防災計画の修正 (年1回) 職員向け防災研修の実施 (年1回以上) 広報誌への防災特集記事の掲載 (年1回) 防災週間(8/30～9/5)に合わせた市役所での啓発パネルの設置 (年1回)	1回 1回 1回 1回	地域防災計画の修正 (年1回) 自主防災組織主催の防災訓練への協力回数 自主防災組織活動事業費補助金の補助件数	1回 10回 25件			
目標値 (R14)	地域防災計画の修正 (年1回) 職員向け防災研修の実施 (年1回以上) 広報誌への防災特集記事の掲載 (年1回) 防災週間(8/30～9/5)に合わせた市役所での啓発パネルの設置 (年1回)	1回 1回 1回 1回	地域防災計画の修正 (年1回) 自主防災組織主催の防災訓練への協力回数 自主防災組織活動事業費補助金の補助件数	1回 15回 30件	自主防災組織主催の防災訓練への協力回数 市民アンケートにおける「災害対策の充実」項目での満足度向上	6回 13回	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	危機管理課
政策番号	5
政策名	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)
施策番号	20
施策名	災害対策の強化
現行の施策の主な取り組み	①災害時緊急体制の確立 ②防災・減災対策の強化 ③消防団体制の充実 ④自主防災力の向上
当該施策の目指す姿	市民一人ひとりや地域、行政が一丸となって防災・減災に取り組むことで、災害に対する強靱な基盤ができています。

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)		
				1次アウトカム	2次アウトカム			
18,980	事務事業名	防災用品等備蓄事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます		
	・保存年限を迎える備蓄品について、自治会等への配布といった有効活用を図りつつ、更新を行う。		食料、飲料水の更新 毛布の確保 自治会等への配布		適切な備蓄数の確保 住民の家庭での備えの意識向上	市民一人ひとりや地域、行政が一丸となって防災・減災に取り組むことで、災害に対する強靱な基盤ができています。		
				上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補		災害用備蓄充足率	
				設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
			現状値 (R5)	毛布の備蓄数	17,131枚		災害用備蓄充足率	95%
			目標値 (R10)	毛布の備蓄数	20,000枚			
		目標値 (R14)	毛布の備蓄数	22,000枚	災害用備蓄充足率		100%	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	都市計画課
-----	-------

政策番号	5	政策名	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)
施策番号	20	施策名	災害対策の強化
当該施策の目指す姿	市民一人ひとりや地域、行政が一丸となって防災・減災に取り組むことで、災害に対する強靱な基盤ができています。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)
	事務事業名	住宅耐震化啓発支援事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます
5,250	・無料耐震診断事業、耐震改修工事補助事業の実施 ・ブロック塀等撤去工事補助事業の実施 ・耐震シェルター設置工事補助事業の実施 ・市民フォーラム「安全・安心 住宅耐震リフォームの個別相談会」の開催		無料耐震診断事業実施 各種補助事業実施 耐震改修工事補助事業 ブロック塀等撤去工事補助事業 耐震シェルター設置工事補助事業		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	市民一人ひとりや地域、行政が一丸となって防災・減災に取り組むことで、災害に対する強靱な基盤ができています。
			市民フォーラムの開催及び 広報紙等による啓発実施回数		無料耐震診断事業申請 各種補助事業申請 耐震改修工事補助事業 ブロック塀等撤去工事補助事業 耐震シェルター設置工事補助事業	住宅の安全性向上 災害発生時の被害軽減	
					上記を測るアウトカム指標の候補 無料耐震診断事業申請件数 耐震改修工事補助事業申請件数 ブロック塀等撤去工事補助事業申請件数 耐震シェルター設置工事補助事業申請件数	上記を測るアウトカム指標の候補 耐震化率	
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	
	現状値 (R5)	啓発活動実施回数	2回	無料耐震診断事業申請件数 9件 耐震改修工事補助事業申請件数 3件 ブロック塀等撤去工事補助事業申請件数 4件	耐震化率	89%	
	目標値 (R10)	啓発活動実施回数	2回	無料耐震診断事業申請件数 10件 耐震改修工事補助事業申請件数 3件 ブロック塀等撤去工事補助事業申請件数 5件			
	目標値 (R14)	啓発活動実施回数	2回	無料耐震診断事業申請件数 10件 耐震改修工事補助事業申請件数 3件 ブロック塀等撤去工事補助事業申請件数 5件	耐震化率	97.8%	



第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	土木課
-----	-----

政策番号	5	政策名	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)
施策番号	20	施策名	災害対策の強化
当該施策の目指す姿	市民一人ひとりや地域、行政が一丸となって防災・減災に取り組むことで、災害に対する強靱な基盤ができています。		
		現在の施策の主な取り組み	①災害時緊急体制の確立 ②防災・減災対策の強化 ③消防団体制の充実 ④自主防災力の向上

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)		
	事務事業名				1次アウトカム	2次アウトカム			
3,500	大和川流域総合治水対策事業	事業対象候補地となる市内のため池について、基礎調査を行う。	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます	
			対策量/大和川総合治水対策協議会 における計画対策量				水害発生件数の減少		
					上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
							水害発生件数の減少		
						設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
現状値 (R5)	対策量/大和川総合治水対策協議会にお ける計画対策量	52%		大雨・洪水警報発表時の水害発生平均件数	2.7件				
目標値 (R10)	対策量/大和川総合治水対策協議会にお ける計画対策量	58%							
			目標値 (R14)	対策量/大和川総合治水対策協議会にお ける計画対策量	60%		大雨・洪水警報発表時の水害発生平均件数	1件	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

政策番号	5	政策名	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	所管名	危機管理課
施策番号	20	施策名	災害対策の強化	現行の施策の主な取り組み	①災害時緊急体制の確立 ②防災・減災対策の強化 ③消防団体制の充実 ④自主防災力の向上
当該施策の目指す姿	市民一人ひとりや地域、行政が一丸となって防災・減災に取り組むことで、災害に対する強靱な基盤ができています。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分																																																				
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)																																																				
			1次アウトカム		2次アウトカム		めざす姿と同じ内容が転記されます																																																				
704	<b>事務事業名</b> 消防団活性化事業 ・消防団の活動内容等を紹介する「消防団だより」を発刊する。 ・「防火パレード」、「年末特別警戒活動(夜警)」、「消防出初式」を実施する。 ・火災出動時の活動に資するため、消防署との合同訓練を実施する。また、各分団における訓練実施を促進する。 ・各分団の消防機材等の配備及び改修を実施する。	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載  「消防団だより」発刊回数 「防火パレード」実施回数 「年末特別警戒活動(夜警)」実施回数 「消防出初式」実施回数 消防団消防署合同訓練実施回数 分団訓練実施回数 訓練実施の促進及び支援 消防機材等の配備や改修	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい			市民一人ひとりや地域、行政が一丸 となって防災・減災に取り組むことで、 災害に対する強靱な基盤ができてい る。																																																			
			消防団の維持活性化 (新規団員の入団数)		消防団員数の確保																																																						
			団員の意識及びスキ ルの向上		火災時における団員の出動割合の向上																																																						
			上記を測るアウトカム指標の候補 各団員の年間あたり訓練参加回数		上記を測るアウトカム指標の候補 条例定数に対する実員数の割合 火災時における団員の出動割合																																																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定指標</th> <th>値</th> <th>設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)</th> <th>値</th> <th>設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">現状値 (R5)</td> <td>「消防団だより」発刊回数(年1回)</td> <td>1回</td> <td rowspan="6">各団員の年間あたり訓練参加回数</td> <td rowspan="6">4回</td> <td rowspan="6">条例定数に対する実員数の割合</td> <td rowspan="6">87%</td> </tr> <tr> <td>「防火パレード」実施回数(年1回)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>「年末特別警戒活動(夜警)」実施回数(年1回)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>「消防出初式」実施回数(年1回)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>消防団消防署合同訓練実施回数(年2回)</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>分団訓練実施回数</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">目標値 (R10)</td> <td>「消防団だより」発刊回数(年1回)</td> <td>1回</td> <td rowspan="6">各団員の年間あたり訓練参加回数</td> <td rowspan="6">5回</td> <td rowspan="6">火災時における団員の出動割合</td> <td rowspan="6">44%</td> </tr> <tr> <td>「防火パレード」実施回数(年1回)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>「年末特別警戒活動(夜警)」実施回数(年1回)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>「消防出初式」実施回数(年1回)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>消防団消防署合同訓練実施回数(年2回)</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>分団訓練実施回数</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">目標値 (R14)</td> <td>「消防団だより」発刊回数(年1回)</td> <td>1回</td> <td rowspan="6">各団員の年間あたり訓練参加回数</td> <td rowspan="6">6回</td> <td rowspan="6">条例定数に対する実員数の割合</td> <td rowspan="6">90%</td> </tr> <tr> <td>「防火パレード」実施回数(年1回)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>「年末特別警戒活動(夜警)」実施回数(年1回)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>「消防出初式」実施回数(年1回)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>消防団消防署合同訓練実施回数(年2回)</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>分団訓練実施回数</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table>			設定指標	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	現状値 (R5)	「消防団だより」発刊回数(年1回)	1回	各団員の年間あたり訓練参加回数	4回	条例定数に対する実員数の割合	87%	「防火パレード」実施回数(年1回)	1回	「年末特別警戒活動(夜警)」実施回数(年1回)	1回	「消防出初式」実施回数(年1回)	1回	消防団消防署合同訓練実施回数(年2回)	2回	分団訓練実施回数	4回	目標値 (R10)	「消防団だより」発刊回数(年1回)	1回	各団員の年間あたり訓練参加回数	5回	火災時における団員の出動割合	44%	「防火パレード」実施回数(年1回)	1回	「年末特別警戒活動(夜警)」実施回数(年1回)	1回	「消防出初式」実施回数(年1回)	1回	消防団消防署合同訓練実施回数(年2回)	2回	分団訓練実施回数	5回	目標値 (R14)	「消防団だより」発刊回数(年1回)	1回	各団員の年間あたり訓練参加回数	6回	条例定数に対する実員数の割合	90%	「防火パレード」実施回数(年1回)	1回	「年末特別警戒活動(夜警)」実施回数(年1回)	1回	「消防出初式」実施回数(年1回)	1回
	設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値																																																					
現状値 (R5)	「消防団だより」発刊回数(年1回)	1回	各団員の年間あたり訓練参加回数	4回	条例定数に対する実員数の割合	87%																																																					
	「防火パレード」実施回数(年1回)	1回																																																									
	「年末特別警戒活動(夜警)」実施回数(年1回)	1回																																																									
	「消防出初式」実施回数(年1回)	1回																																																									
	消防団消防署合同訓練実施回数(年2回)	2回																																																									
	分団訓練実施回数	4回																																																									
目標値 (R10)	「消防団だより」発刊回数(年1回)	1回	各団員の年間あたり訓練参加回数	5回	火災時における団員の出動割合	44%																																																					
	「防火パレード」実施回数(年1回)	1回																																																									
	「年末特別警戒活動(夜警)」実施回数(年1回)	1回																																																									
	「消防出初式」実施回数(年1回)	1回																																																									
	消防団消防署合同訓練実施回数(年2回)	2回																																																									
	分団訓練実施回数	5回																																																									
目標値 (R14)	「消防団だより」発刊回数(年1回)	1回	各団員の年間あたり訓練参加回数	6回	条例定数に対する実員数の割合	90%																																																					
	「防火パレード」実施回数(年1回)	1回																																																									
	「年末特別警戒活動(夜警)」実施回数(年1回)	1回																																																									
	「消防出初式」実施回数(年1回)	1回																																																									
	消防団消防署合同訓練実施回数(年2回)	2回																																																									
	分団訓練実施回数	6回																																																									

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	
-----	--

政策番号	5	政策名	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	
施策番号	21	施策名	生活安全対策の強化	①防犯意識の向上 ②消費者保護の推進
当該施策の目指す姿	市民一人ひとりが防犯に関する知識と意識を持ち、地域ぐるみで治安を守りながら、安心して暮らすことができる。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)	
			1次アウトカム		2次アウトカム			
	事務事業名 <b>防犯意識啓発事業</b>	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での变化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます	
2,712	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域安全ニュースを配信し、地域安全推進委員等、地域の協力を得て防犯啓発を行う。</li> <li>・市公式LINEの活用による定期的な防犯情報の発信、及び犯罪発生が予測される緊急時には注意喚起を行うほか、街頭啓発活動やホームページなどを活用した啓発活動を実施する。</li> <li>・高齢者防犯電話購入補助金交付事業の実施・周知により、高齢世帯における防犯電話の設置を推進し、特殊詐欺被害を抑制する。</li> <li>・防犯灯など生活安全課管理施設を点検し、予防保全含めた修繕を実施する。</li> <li>・市が設置する防犯カメラの管理及び点検を適切に行う。</li> <li>・「子ども110番の家」設置協力を自治会に依頼し、設置数の増加を図るとともに、劣化した旗の交換を実施し、子どもに目につきやすい環境を整備する。</li> </ul>	広報紙への啓発記事掲載・地域安全ニュースの発出	→	ホームページのアクセス回数	→	市民ひとりひとりが防犯対策を実施している	市民一人ひとりが防犯に関する知識と意識を持ち、地域ぐるみで治安を守りながら、安心して暮らすことができる。	
		ホームページ・SNSでの防犯啓発情報発信	→	防犯電話の補助金申請件数	→	地域防犯への意識の向上		
		出前講座や街頭での交通安全啓発活動の実施	→	個人の防犯に対する意識の向上	→	地域の見守りボランティア等への参加		
		防犯灯・防犯カメラの維持・修繕	→	市の防犯啓発活動の認知している人の増加				
		「子ども110番の家」の協力依頼						
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			
			総合計画に係る市民アンケート 防犯電話の補助金申請件数		年間刑法犯認知件数 「特殊詐欺」認知件数 侵入窃盗関係認知件数 「子ども110番の家」の協力率 総合計画に係る市民アンケート			
		設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
		現状値 (R5)	防犯啓発の情報発信回数 啓発活動実施回数	35回 29回	市民アンケートにおいて、市が取り組む生活安全対策の強化に対して、「とても満足している」「ある程度満足している」と回答した人の割合 防犯電話の補助金申請件数	14.4% 30件	「子ども110番の家」の協力率 市民アンケート「地域における幸福度・満足度」において、項目31「香芝市は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい」に対して、非常にあてはまる」「ある程度あてはまる」と回答した人の割合	4.0% 30.5%
		目標値 (R10)	防犯啓発の情報発信回数 啓発活動実施回数	12回 12回	市民アンケートにおいて、市が取り組む生活安全対策の強化に対して、「とても満足している」「ある程度満足している」と回答した人の割合 防犯電話の補助金申請件数	17% 40件		
		目標値 (R14)	防犯啓発の情報発信回数 啓発活動実施回数	12回 12回	市民アンケートにおいて、市が取り組む生活安全対策の強化に対して、「とても満足している」「ある程度満足している」と回答した人の割合 防犯電話の補助金申請件数	20% 40件	「子ども110番の家」の協力率 市民アンケート「地域における幸福度・満足度」において、項目31「香芝市は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい」に対して、非常にあてはまる」「ある程度あてはまる」と回答した人の割合	4.0% 35%

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	商工観光課
-----	-------

政策番号	5	政策名	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)		
施策番号	21	施策名	生活安全対策の強化	現行の施策の主な取り組み	①防犯意識の向上 ②消費者保護の推進
当該施策の目指す姿	市民一人ひとりが防犯に関する知識と意識を持ち、地域ぐるみで治安を守りながら、安心して暮らすことができる。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)
	事務事業名	消費生活安全事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます
2,670	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香芝市消費者安全確保地域協議会について、会議等を通して要配慮消費者の実態や情報を共有する。</li> <li>・広報紙や市ホームページにて消費者トラブルに関する注意喚起や啓発記事を掲載する。</li> <li>・消費生活相談関係の啓発物品を作成する。</li> <li>・国や奈良県が実施している消費生活相談員向けの研修に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活センターの運営</li> <li>・消費生活相談員の研修参加回数</li> <li>・香芝市消費者安全確保地域協議会の開催</li> </ul>	広報紙を通じた広報実施回数	消費生活センターを認知している人の増加	消費者被害が早期発見される	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	
			インターネット・SNSを通じた広報実施回数	高齢者の消費者安全意識の向上			香芝市で取り組んでいる消費者行政の認知度向上
			消費生活関係の啓発物品の作成	相談者の問題解決	相談件数の減少		
			消費生活センターの運営	上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補		
			消費生活相談員の研修参加回数	ホームページのアクセス回数 消費生活センターを知っている人の増加	消費生活相談相談件数 消費啓発活動の認知度		
			設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
	現状値 (R5)	年間相談件数 249件 広報実施回数 2回	ホームページのアクセス回数	619回	消費生活相談相談件数の減少率	10%	
	目標値 (R10)	年間相談件数 220件 広報実施回数 3回	ホームページのアクセス回数	700回			
	目標値 (R14)	年間相談件数 190件 広報実施回数 5回	ホームページのアクセス回数	750回	消費生活相談相談件数の減少率	15%	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	生活安全課
-----	-------

政策番号	5	政策名	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)		
施策番号	22	施策名	交通安全対策の強化	現行の施策の主な取り組み	①交通安全対策の推進
当該施策の目指す姿	正しい交通ルールやマナーが守られ、誰もが安全で安心して過ごすことができる。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)	
			1次アウトカム		2次アウトカム			
	事務事業名	交通安全対策啓発事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
1,907	職員による毎月1回の街頭立哨のほか、地域における交通安全啓発活動を定期的(月に1回以上)に行う。 ・高齢者運転免許証自主返納等支援制度を継続実施・周知し、運転に不安を感じる方の自主返納を促進する。 ・春・秋の交通安全運動期間に合わせ、年齢や属性に応じた交通安全啓発(イベント、チラシや啓発物品の配布等)を行う。 ・市公式LINEやホームページの活用により、定期的(年間6回以上)に交通安全啓発を行う。 ・交通安全対策および啓発に用いる用品を手配し、学校や保護者と連携して、効果的な対策・啓発強化を図る。	街頭立哨の実施	市の交通安全活動の認知している人の増加		交通ルールの理解度の向上		正しい交通ルールやマナーが守られ、誰もが安全で安心して過ごすことができる。	
		交通安全用品の配布	子どもの交通安全意識の向上		市民の安全運転に対する意識の高揚			
		広報紙への啓発記事掲載	ホームページのアクセス回数		高齢者コミュニティにおける交通安全意識の向上			
		インターネット・SNSを通じた広報実施	運転免許自主返納支援補助金の申請件数					
		出前講座や街頭での交通安全啓発活動の実施	上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			
	ドライバー講習の実施	総合計画に係る市民アンケート 運転免許自主返納支援補助金の申請件数		交通事故発生件数 交通事故死傷者数				
		設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
	現状値 (R5)	啓発及び街頭立哨実施回数 広報実施回数	24回 13回	市民アンケートにおいて、市が取り組む交通安全対策の強化に対して、「とても満足している」「ある程度満足している」と回答した人の割合 運転免許自主返納支援補助金の申請件数	14.1% 123件	交通事故発生件数 交通事故死傷者数	125件 141人	
	目標値 (R10)	啓発及び街頭立哨実施回数 広報実施回数	15回 12回	市民アンケートにおいて、市が取り組む交通安全対策の強化に対して、「とても満足している」「ある程度満足している」と回答した人の割合 運転免許自主返納支援補助金の申請件数	17% 130件			
	目標値 (R14)	啓発及び街頭立哨実施回数 広報実施回数	15回 12回	市民アンケートにおいて、市が取り組む交通安全対策の強化に対して、「とても満足している」「ある程度満足している」と回答した人の割合 運転免許自主返納支援補助金の申請件数	20% 130件	交通事故発生件数 交通事故死傷者数	113件 127人	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	生活安全課
-----	-------

政策番号	5	政策名	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)
施策番号	22	施策名	交通安全対策の強化
当該施策の目指す姿	正しい交通ルールやマナーが守られ、誰もが安全で安心して過ごすことができる。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)		
			1次アウトカム		2次アウトカム				
	事務事業名	放置自転車対策推進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます	
4,118	<p>(放置自転車)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放置自転車移動指導業務を奈良県シルバー人材センター協議会に委託し、鉄道各駅周辺の放置自転車禁止区域内の違法駐輪対策を実施する。</li> <li>自転車保管所における自転車保管・返還業務を香芝市シルバー人材センターに委託し、撤去自転車の保管管理及び返還手続きを速やかに実施する。</li> <li>放置自転車禁止区域における看板及び区域図の状況を把握調査し、看板等の更新を昨年度に引き続き実施する。</li> <li>撤去後一定期間が経過した自転車を処分告示後に売払処分する。</li> </ul> <p>(自転車駐車場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>香芝市シルバー人材センターを指定管理者として運営・管理を行う。</li> <li>施設修繕については、指定管理者と現況について情報共有し、有効な修繕方法および修繕内容となるよう努める。</li> <li>近鉄下田駅地下自転車駐車場の中規模改修のうち、照明LED化の入札を行い、光熱水費の低減を図る。</li> </ul> <p>(自動車駐車場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タイムズグループを指定管理者として無人での運営・管理を行う。</li> <li>現指定管理者の指定期間が令和6年度末で満了となるため、令和7年度以降の指定管理者を適正に選定する。</li> <li>駐車場の車室の3室を活用し、カーシェアリングを行う。</li> </ul>	<p>自転車移動・指導実施日数</p> <p>放置禁止区域看板の更新</p> <p>返却時に駐輪場を案内</p> <p>駐輪場の持続的な運営</p> <p>指定管理者との協議</p> <p>駐輪場のLED化等、改修実施</p> <p>自動車駐車場の持続的な運営</p>	<p>放置自転車の減少</p> <p>駐輪場の利用者数の増加</p> <p>自動車駐車場の利用台数の増加</p>	<p>駅前道路が慢性的に占有されていない状況であること</p> <p>駅前交通環境への意識の向上</p>	<p>上記を測るアウトカム指標の候補</p> <p>撤去自転車台数の減少 返却自転車台数の減少 駐輪場の利用者数の増加 自動車駐車場の利用台数の増加</p>	<p>上記を測るアウトカム指標の候補</p> <p>→放置自転車や駅前への自転車流入量抑制が交通安全施策につながる</p> <p>→駐輪場の設置と放置自転車禁止区域の設定は両天秤</p> <p>→放置自転車の全数や駅前の交通量、自転車事故数みたいな数値があれば論理的にはわかりやすいが、そのようなデータが無い。</p>	正しい交通ルールやマナーが守られ、誰もが安全で安心して過ごすことができる。		
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
		現状値 (R5)	<p>自転車移動・指導実施日数</p> <p>駐輪場の運営日数</p> <p>指定管理者との協議回数</p>	<p>119日</p> <p>362日</p> <p>12回</p>	<p>撤去自転車台数の減少</p> <p>返却自転車台数の減少</p> <p>駐輪場の利用者数の増加</p>	<p>89台</p> <p>49台</p> <p>87万台</p>		設定なし (1次アウトカム指標で評価)	
		目標値 (R10)	<p>自転車移動・指導実施日数</p> <p>駐輪場の運営日数</p> <p>指定管理者との協議回数</p>	<p>96日</p> <p>361日</p> <p>12回</p>	<p>撤去自転車台数の減少</p> <p>返却自転車台数の減少</p> <p>駐輪場の利用者数の増加</p>	<p>80台</p> <p>40台</p> <p>94万台</p>			
目標値 (R14)	<p>自転車移動・指導実施日数</p> <p>駐輪場の運営日数</p> <p>指定管理者との協議回数</p>	<p>96日</p> <p>361日</p> <p>12回</p>	<p>撤去自転車台数の減少</p> <p>返却自転車台数の減少</p> <p>駐輪場の利用者数の増加</p>	<p>70台</p> <p>35台</p> <p>100万台</p>	設定なし (1次アウトカム指標で評価)				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	公園道路管理課
-----	---------

政策番号	5	政策名	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)		
施策番号	22	施策名	交通安全対策の強化	現行の施策の主な取り組み	①交通安全対策の推進 ②交通安全施設の整備
当該施策の目指す姿	正しい交通ルールやマナーが守られ、誰もが安全で安心して過ごすことができる。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分				
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)				
	事務事業名	交通安全施設整備事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます				
17,020	通学路交通安全プログラムなどに基づき、交差点付近の防護柵設置など、要対策箇所の整備を実施します。		<p>通学路の要安全対策箇所に対する整備率</p> <p>道路整備に関する地元要望の達成率</p> <p>通学路の安全性が向上する</p> <p>交通規則の遵守が促進される</p> <p>安全で安心な生活環境の満足度</p>		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい			事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい			
					上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補				
					要安全対策箇所数		市民の満足度				
						設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
					現状値 (R5)	交通安全施設の整備率	71%	要安全対策箇所数	58	市民の満足度	—
目標値 (R10)	交通安全施設の整備率	100%	要安全対策箇所数	50	/						
目標値 (R14)	交通安全施設の整備率	100%	要安全対策箇所数	40			市民の満足度	上昇			

正しい交通ルールやマナーが守られ、誰もが安全で安心して過ごすことができる。

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	廃棄物対策課
-----	--------

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策番号	23	施策名	環境問題への取り組み強化
当該施策の目指す姿	みんなが環境について自ら考え、環境に配慮した生活・活動を実践している。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)		
	事務事業名	ごみ減量及び資源化推進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム			
5,282	<p>・集団資源回収奨励金 新聞、雑誌、ダンボール等、再生利用可能な一般廃棄物を集団回収するPTA等の各市民環境部種団体に対し、奨励金の交付を実施する。</p> <p>・生ごみ処理機購入補助金 家庭内で発生する生ごみ等の減量のため、電動式生ごみ処理機を購入される方に対し、購入金額の一部の補助を実施する。</p> <p>・ええもんクルっとコーナー まだ使える“食器類”を皆さまから集め、必要とするかたに差し上げるリユースコーナー「ええもんクルっとコーナー」を開催する。</p>		<p>集団資源回収奨励金の広報・案内件数</p> <p>生ごみ処理機購入補助金の広報回数</p> <p>ええもんクルっとコーナーの広報回数</p> <p>回収した食器類の補充回数</p>		<p>事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい</p> <p>3R (Reduce (リデュース)・Reuse (リユース)・Recycle (リサイクル)) に関する意識の向上</p>		<p>事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい</p> <p>3Rの実践によるごみ量の減少とリサイクル率の向上</p>		めざす姿と同じ内容が転記されます
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補				
			<p>・3Rを意識している人の割合</p> <p>・集団資源回収の量</p> <p>・集団資源回収を行う登録団体数</p> <p>・生ごみ処理機購入補助金の申請件数</p> <p>・回収した食器類の配布量</p>		<p>・1人当たりの1日のごみ排出量</p> <p>・ごみの資源化率</p>				
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
			現状値 (R5)	<p>・集団資源回収奨励金の広報・案内件数 0回</p> <p>・生ごみ処理機購入補助金の広報回数 2回</p> <p>・ええもんクルっとコーナーの広報回数 4回</p> <p>・食器類の補充回数 6回</p>	<p>・3Rを意識している人の割合 検討中</p> <p>・集団資源回収の量 995トン</p> <p>・集団資源回収を行う登録団体数 27団体</p> <p>・生ごみ処理機購入補助金の申請件数 9件</p> <p>・回収した食器類の配布量 27kg</p>	<p>・1人当たりの1日のごみ排出量 607g</p> <p>・ごみの資源化率 13.1%</p>			
		目標値 (R10)	<p>・集団資源回収奨励金の広報・案内件数 27回</p> <p>・生ごみ処理機購入補助金の広報回数 2回</p> <p>・ええもんクルっとコーナーの広報回数 4回</p> <p>・食器類の補充回数 6回</p>	<p>・3Rを意識している人の割合 検討中</p> <p>・集団資源回収の量 995トン</p> <p>・集団資源回収を行う登録団体数 27団体</p> <p>・生ごみ処理機購入補助金の申請件数 10件</p> <p>・回収した食器類の配布量 27kg</p>	/				
		目標値 (R14)	<p>・集団資源回収奨励金の広報・案内件数 27回</p> <p>・生ごみ処理機購入補助金の広報回数 2回</p> <p>・ええもんクルっとコーナーの広報回数 4回</p> <p>・食器類の補充回数 6回</p>	<p>・3Rを意識している人の割合 検討中</p> <p>・集団資源回収の量 995トン</p> <p>・集団資源回収を行う登録団体数 27団体</p> <p>・生ごみ処理機購入補助金の申請件数 10件</p> <p>・回収した食器類の配布量 27kg</p>	<p>・1人当たりの1日のごみ排出量 533g</p> <p>・ごみの資源化率 23%</p>				

みんなが環境について自ら考え、環境に配慮した生活・活動を実践している。

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	
施策番号	23	施策名	環境問題への取り組み強化	現行の施策の主な取り組み ①ごみ減量と資源化の推進 ②環境保全対策の推進
当該施策の目指す姿	一人ひとりが環境に配慮した生活・活動を実践し、環境への悪影響を減らし、住みよいまちづくりに貢献する。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)		
			1次アウトカム		2次アウトカム		めざす姿と同じ内容が転記されます		
20,048	事務事業名 生活環境保全事業 ・環境にかかるテーマを広報やHPにて発信し、市民への周知・関心を高める ・環境学習機会の創出 ・廃食用油の回収の実施 ・所有者への雑草除去通知送付及び所有者から委託された雑草除去の実施 ・生活環境に関する苦情(騒音・振動・悪臭等)の聞き取り及び行為者への改善依頼や公害調査(自動車騒音・環境騒音・河川の水質検査・大気汚染)の実施	取組が実施されたことを示す事実(直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載 地球温暖化をテーマにした広報等の掲載回数 生活環境をテーマにした広報等の掲載回数 環境学習実施回数 廃食用油回収量 雑草除去通知送付件数	環境問題に関する市民・事業所の意識の向上 生活環境に関する市民・事業所の意識の向上 騒音・振動・悪臭等の公害問題の解消 適正に管理された空き地の増加	再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化等の環境に配慮した生活スタイルが定着し、市内の温室効果ガス排出量が減少する。 市民一人一人が生活環境の保全について、自ら考え、取り組みを実施し、住みよい環境であると感じる人が増加する。	一人ひとりが環境に配慮した生活・活動を実践し、環境への悪影響を減らし、住みよいまちづくりに貢献する。				
			上記を測るアウトカム指標の候補 ・環境問題への興味・関心に関する市民・事業所向けアンケートにおいて肯定的な回答をする人の割合 ・雑草苦情相談件数 ・生活環境に関する苦情相談件数 ・公害調査環境基準値達成率	上記を測るアウトカム指標の候補 ・区域の温室効果ガス排出量 ・区域の再生可能エネルギーの導入状況 ・生活環境に関する市民アンケートにおいて肯定的な回答をする人の割合					
			設定指標 値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋) 値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋) 値			
			現状値 (R5) ・地球温暖化をテーマにした広報等の掲載回数 ・生活環境をテーマにした広報等の掲載回数 ・環境学習実施回数 ・廃食用油回収量 ・雑草除去通知送付回数	値 ・4回 ・9回 ・10回 ・15,829L ・95件		・環境問題への興味・関心に関する市民・事業所向けアンケートにおいて肯定的な回答をする人の割合 ・雑草苦情相談件数 ・生活環境に関する苦情相談件数 ・公害調査環境基準値達成率	・【データなし】 ・24件 ・大気：100% 水質：75% 騒音：96.3% ・51件	・区域の温室効果ガス排出量 ・区域の再生可能エネルギーの導入状況 ・生活環境に関する市民アンケートにおいて肯定的な回答をする人の割合	・225千t-CO2 ・24,268kW ・51.35%
			目標値 (R10) ・地球温暖化をテーマにした広報等の掲載回数 ・生活環境をテーマにした広報等の掲載回数 ・環境学習実施回数 ・廃食用油回収量 ・雑草除去通知送付回数	値 ・5回 ・10回 ・10回 ・17,500L ・100件		・環境問題への興味・関心に関する市民アンケートにおいて肯定的な回答をする人の割合 ・雑草苦情相談件数 ・生活環境に関する苦情相談件数 ・公害調査環境基準値達成率	・【データなし】 ・22件 ・大気：100% 水質：100% 騒音：100% ・56件		
目標値 (R14) ・地球温暖化をテーマにした広報等の掲載回数 ・生活環境をテーマにした広報等の掲載回数 ・環境学習実施回数 ・廃食用油回収量 ・雑草除去通知送付回数	値 ・6回 ・11回 ・14回 ・19,000L ・105件	・環境問題への興味・関心に関する市民アンケートにおいて肯定的な回答をする人の割合 ・雑草苦情相談件数 ・生活環境に関する苦情相談件数 ・公害調査環境基準値達成率	・【データなし】 ・20件 ・大気：100% 水質：100% 騒音：100% ・61件	・区域の温室効果ガス排出量 ・区域の再生可能エネルギーの導入状況 ・生活環境に関する市民アンケートにおいて肯定的な回答をする人の割合	・200千t-CO2 ・30,000kW ・100%				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	廃棄物対策課
-----	--------

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)		
施策番号	23	施策名	環境問題への取り組み強化	現行の施策の主な取り組み	①ごみ減量と資源化の推進 ②環境保全対策の推進
当該施策の目指す姿	みんなが環境について自ら考え、環境に配慮した生活・活動を実践している。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)
	事務事業名	不法投棄防止啓発事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます
435	事務事業名 ・不法投棄を抑制するため、広報活動及び監視パトロールを実施する。	不法投棄防止啓発事業	広報紙等による広報実施回数 監視パトロール実施回数		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	
					不法投棄の防止対策が講じられている	不法投棄の減少	
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
			・不法投棄防止に関する取組みが進んでいると感じる人の割合		・不法投棄の発生(認知)件数		
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
現状値 (R5)	・広報紙等による広報実施回数 ・監視パトロール実施回数	2回 24回	・不法投棄防止に関する取組みが進んでいると感じる人の割合	検討中	・不法投棄の発生(認知)件数	22回	
目標値 (R10)	・広報紙等による広報実施回数 ・監視パトロール実施回数	2回 24回	・不法投棄防止に関する取組みが進んでいると感じる人の割合	検討中	/		
目標値 (R14)	・広報紙等による広報実施回数 ・監視パトロール実施回数	2回 24回	・不法投棄防止に関する取組みが進んでいると感じる人の割合	検討中	・不法投棄の発生(認知)件数	19回	
みんなが環境について自ら考え、環境に配慮した生活・活動を実践している。							

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	公園道路管理課
-----	---------

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)		
施策番号	24	施策名	自然環境・景観の保全	現行の施策の主な取り組み	①美しい自然環境・景観の保全
当該施策の目指す姿	街路や公園、河川などが綺麗に保たれていて、一人ひとりがその状態を維持しようと努めている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)	
	事務事業名				1次アウトカム	2次アウトカム		
	河川・水路の土砂・廃棄物撤去量							
	街路美化推進事業 都市公園維持管理補修事業 河川維持管理事業		取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
街路美化推進 事業 57,000  都市公園維持 管理補修事業 161,136  河川維持管理 事業 69,097	まちを形成する道路・公園・河川について、適切な維持管理、および美化作業を行います。  ・街路上における定期的な草刈り、樹木剪定を実施します。  ・地域の美化活動を啓発し促進します。  ・公園内における定期的な草刈り、樹木剪定を実施します。  ・公園内における定期的な遊具の点検を実施し、危険度の高い箇所から改修を実施します。  ・河川や水路における定期的な草刈り、樹木剪定を実施します。  ・河川や水路における土砂撤去を実施します。		<p>草刈り・樹木剪定の実施面積</p> <p>遊具点検の実施</p> <p>河川・水路の土砂・廃棄物撤去</p> <p>2次アウトカムへ直結</p> <p>公園利用者の安全性が向上する</p> <p>洪水に対する安全性が向上する</p> <p>緑地環境に対する地域住民の満足度の向上</p> <p>公園環境に対する地域住民の満足度の向上</p> <p>安全性に対する地域住民の満足度の向上</p>		<p>上記を測るアウトカム指標の候補</p> <p>上記を測るアウトカム指標の候補</p> <p>市民の満足度</p>		街路や公園、河川などが綺麗に保たれていて、一人ひとりがその状態を維持しようと努めている。	
			設定指標		設定指標			
			値		値			
			設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)			
		現状値 (R5)	街路維持管理面積 都市公園維持管理面積 河川維持管理面積 遊具点検の実施箇所率	4ha 41ha 0.5ha 100%		市民の満足度	—	
		目標値 (R10)	街路維持管理面積 都市公園維持管理面積 河川維持管理面積 遊具点検の実施箇所率	4ha 52ha 0.5ha 100%				
		目標値 (R14)	街路維持管理面積 都市公園維持管理面積 河川維持管理面積 遊具点検の実施箇所率	4ha 63ha 0.5ha 100%		市民の満足度	上昇	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	都市計画課
-----	-------

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策番号	24	施策名	自然環境・景観の保全
当該施策の目指す姿	街路や公園、河川などが綺麗に保たれていて、一人ひとりがその状態を維持しようと努めている。		
		現行の施策の主な取り組み	①美しい自然環境・景観の保全

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分			
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)			
	事務事業名	屋外広告物規制事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム				
47	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外広告物の新規、継続、撤去等許可事務</li> <li>中和幹線の良好な景観形成に努める</li> <li>違反広告物の簡易除却活動</li> <li>屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ・通知文等による屋外広告物に係る許可申請の周知・啓発</li> <li>中和幹線の既存不適格物件に対する修景の働きかけ</li> <li>重点景観形成区域における屋外広告物パトロールの強化</li> <li>違反広告物の簡易除却活動回数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ・通知文等による屋外広告物に係る許可申請の周知・啓発</li> <li>中和幹線の既存不適格物件に対する修景の働きかけ</li> <li>重点景観形成区域における屋外広告物パトロールの強化</li> <li>違反広告物の簡易除却活動回数</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外広告物の適切な設置</li> <li>中和幹線の景観向上</li> <li>違反広告物の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい</li> <li>事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい</li> </ul>	めざす姿と同じ内容が転記されます			
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補					
			違反広告物撤去件数 中和幹線既存不適格件数		香芝市市民アンケート (自然環境・景観保全) について進んでいると感じた人の割合					
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	街路や公園、河川などが綺麗に保たれていて、一人ひとりがその状態を維持しようと努めている。
			現状値 (R5)	違反広告物の簡易除却活動回数	2回	違反広告物撤去件数	22件	香芝市市民アンケート (自然環境・景観保全) について進んでいると感じた人の割合	5.6%	
目標値 (R10)	違反広告物の簡易除却活動回数	3回	違反広告物撤去件数	25件						
目標値 (R14)	違反広告物の簡易除却活動回数	3回	違反広告物撤去件数	25件	香芝市市民アンケート (自然環境・景観保全) について進んでいると感じた人の割合	10.0%				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	都市計画課
-----	-------

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)		
施策番号	25	施策名	良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	現行の施策の主な取り組み	①良好な市街地の形成 ②持続可能な地域公共交通の確立
当該施策の目指す姿	良好な市街地が形成され、誰もが安心して自由に快適に移動できている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分			
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)			
	事務事業名	空家等対策関係事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム 事業実施者が直接制御できない、間接的成果 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい	2次アウトカム 事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での变化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます			
6,105	・管理不全の空き家所有者等に対し、所有者等の責務を周知するとともに空き家管理サービス、市場流通の促進を図る等の情報提供 ・空き家の除却、利活用補助事業の実施 ・納税通知書の送付機会を活用し、建物所有者等へ空家に関する情報提供 ・空家法の改正内容等を踏まえた「香芝市空家等対策計画」の改訂及び「マンション管理適正化推進計画」の策定	空き家の管理状況に関する情報提供への対応 (現地確認、通知文書の送付)  空家等対策推進支援事業実施 空き家利活用補助 空き家除却補助  空き家セミナーの開催及び 広報紙等による啓発実施回数  財産管理制度の活用			安心・安全なまちづくり  まちの景観向上	良好な市街地が形成され、誰もが安心して自由に快適に移動できている。				
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補					
			空き家利活用補助金申請件数 空き家除却補助金申請件数 情報提供等による対応を行った管理不適切な空き家の改善		住宅・土地統計調査 空き家実態調査					
				設定指標	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
			現状値 (R5)	啓発活動実施回数 情報提供への対応率	4回 100%		空き家利活用補助金申請件数 空き家除却補助金申請件数 情報提供等による対応を行った管理不適切な 空き家の改善	0件 1件 46%	空き家実態調査による空き家率	3.0%
目標値 (R10)	啓発活動実施回数 情報提供への対応率	5回 100%	空き家利活用補助金申請件数 空き家除却補助金申請件数 情報提供等による対応を行った管理不適切な 空き家の改善	1件 1件 50%						
目標値 (R14)	啓発活動実施回数 情報提供への対応率	5回 100%	空き家利活用補助金申請件数 空き家除却補助金申請件数 情報提供等による対応を行った管理不適切な 空き家の改善	1件 1件 50%	空き家実態調査による空き家率	3.0%				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	
-----	--

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)		
施策番号	25	施策名	良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	現行の施策の主な取り組み	①良好な市街地の形成 ②持続可能な地域公共交通の確立
当該施策の目指す姿	良好な市街地が形成され、誰もが安心して自由に快適に移動できている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)	
			1次アウトカム		2次アウトカム			
	事務事業名	地域公共交通事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での变化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
91,275	<ul style="list-style-type: none"> <li>香芝市コミュニティバスについて、新たに導入したバス車両を広報やイベント等を活用してPRし、利用促進を図る。</li> <li>更新して使用しなくなったバス車両を処分し、収入確保を図る。</li> <li>停留所およびルート(便)見直し廃止基準について、広く広報し、乗降者数データの公表を実施する。</li> <li>香芝市デマンド交通について、出前講座等を活用し、インターネット予約や有効な利用方法の周知を図る。</li> <li>安全な運行管理を実施するため、定期的に運行事業者との協議を実施する。(月1回以上)</li> <li>香芝市地域公共交通計画推進のため、香芝市地域公共交通活性化協議会を開催する(5月・7月・3月開催予定)。</li> <li>令和7年度以降のコミュニティバスおよびデマンド交通の運行について、香芝市地域公共交通活性化協議会での合意形成を図り、入札等により運行事業者を決定する。</li> <li>モビリティマネジメントや出前講座など、市民の声にふれる機会を通じ、公共交通の親和度及び認知度を高め、利用促進を図る。</li> </ul>	コミュニティバスの持続的な運行	市営公共交通の利用者数の増加	公共交通のカバー率			良好な市街地が形成され、誰もが安心して自由に快適に移動できている。	
		デマンド交通の持続的な運行	民営公共交通の利用者数の増加	市内公共交通の維持(事業者数等)				
		公共交通事業者との協議	自宅付近のバス停等、公共交通を認知している人の増加	地域公共交通は乗って維持する意識の醸成				
		利用促進情報の発信	ホームページのアクセス回数					
		モビリティマネジメントの取り組み実施	上記を測るアウトカム指標の候補 各公共交通の利用者数(鉄道のみ、奈良県統計年鑑発表年度の数値であり、利用実績値としては各2年前のデータ)		上記を測るアウトカム指標の候補 公共交通のカバー率 市内公共交通の維持(事業者数等) 総合計画に係る市民アンケート			
			設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		
	現状値(R5)	コミュニティバス運行日数 デマンド交通運行日数 公共交通事業者との協議回数 モビリティマネジメント実施回数	293日 242日 12回 1回	コミュニティバス利用者数 デマンド交通利用者数 JR西日本の(市内駅)利用者数 近畿日本鉄道の(市内駅)利用者数 奈良交通(市内を運行する系統)の利用者数 タクシー(西大和交通圏)の利用者数	44,266人 46,726人 1,318千人 7,390千人 1,795千人 -千人	公共交通のカバー率 市内公共交通の維持(事業者数等) 市民アンケート「地域における幸福度・満足度」において、項目13「香芝市では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」に対して、非常にあてはまる」ある程度あてはまる」と回答した人の割合	97.0% 18社 32.5%	
	目標値(R10)	コミュニティバス運行日数 デマンド交通運行日数 公共交通事業者との協議回数 モビリティマネジメント実施回数	293日 242日 12回 1回	コミュニティバス利用者数 デマンド交通利用者数 JR西日本の(市内駅)利用者数 近畿日本鉄道の(市内駅)利用者数 奈良交通(市内を運行する系統)の利用者数 タクシー(西大和交通圏)の利用者数	55,000人 47,000人 1,466千人 8,142千人 1,795千人 753千人			
	目標値(R14)	コミュニティバス運行日数 デマンド交通運行日数 公共交通事業者との協議回数 モビリティマネジメント実施回数	293日 242日 12回 1回	コミュニティバス利用者数 デマンド交通利用者数 JR西日本の(市内駅)利用者数 近畿日本鉄道の(市内駅)利用者数 奈良交通(市内を運行する系統)の利用者数 タクシー(西大和交通圏)の利用者数	65,000人 47,000人 1,613千人 8,894千人 1,795千人 865千人	公共交通のカバー率 市内公共交通の維持(事業者数等) 市民アンケート「地域における幸福度・満足度」において、項目13「香芝市では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」に対して、非常にあてはまる」ある程度あてはまる」と回答した人の割合	97.0% 18社 40%	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	土木課
-----	-----

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)		
施策番号	26	施策名	生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	現行の施策の主な取り組み	①公園整備の推進 ②バリアフリー化の推進 ③地域拠点としての駅周辺整備
当該施策の目指す姿	バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分			
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)			
					1次アウトカム	2次アウトカム				
1,636,269	事務事業名	香芝市スポーツ公園整備事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます		
	・香芝市スポーツ公園 (プール区域) において、プール施設の建築工事及び仮設駐車場の造成工事を行う。 ・土地・建物等の価格算定を行い、地権者に対して用地交渉を行う。		香芝市スポーツ公園整備進捗率		上記を測るアウトカム指標の候補		誰もが楽しく遊ぶことができ、市民の交流が深まる  上記を測るアウトカム指標の候補 香芝市スポーツ公園利用者満足度	バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。		
			設定指標		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)			
			現状値 (R5)	香芝市スポーツ公園整備進捗率	12%				香芝市スポーツ公園利用者満足度	-
			目標値 (R10)	香芝市スポーツ公園整備進捗率	75%					
			目標値 (R14)	香芝市スポーツ公園整備進捗率	100%			香芝市スポーツ公園利用者満足度	-	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	土木課				
政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)		
施策番号	26	施策名	生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	現行の施策の主な取り組み	①公園整備の推進 ②バリアフリー化の推進 ③地域拠点としての駅周辺整備
当該施策の目指す姿	バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)	
				1次アウトカム		2次アウトカム			
0	事務事業名	街区公園・親水緑地整備事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます	
	・事業実施に向けて関係機関(自治会等)と協議を進めていく。		住民1人当たりの都市公園の敷地面積	→		自然豊かな街になる		バリアフリーの充実した施設が整い、 人と自然が共存する生活環境が構築されている。	
				上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補 「公園や駅周辺の整備」に対する市民満足度			
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値
		現状値 (R5)	住民1人当たりの都市公園の敷地面積	5.2㎡			「公園や駅周辺の整備」に対する市民満足度		-
	目標値 (R10)	住民1人当たりの都市公園の敷地面積	6.8㎡						
	目標値 (R14)	住民1人当たりの都市公園の敷地面積	7.9㎡			「公園や駅周辺の整備」に対する市民満足度	-		



第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	都市計画課
-----	-------

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)		
施策番号	26	施策名	生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	現行の施策の主な取り組み	①公園整備の推進 ②バリアフリー化の推進 ③地域拠点としての駅周辺整備
当該施策の目指す姿	バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)		
	事務事業名	バリアフリー推進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます		
44,405	・JR香芝駅バリアフリー化補助事業の実施 ・バリアフリー教室の開催 ・心のバリアフリーに関する広報・啓発 ・バリアフリー基本構想(特定事業計画)の進捗管理	バリアフリー法に基づく特定事業の実施促進、進捗管理  鉄道駅バリアフリー化補助事業実施  バリアフリー教室の開催  その他心のバリアフリーに関する広報・啓発の実施	バリアフリー特定事業の進捗率の向上  バリアフリー教室の受講者数増加やその他周知・啓発実施による意識の変化		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい			事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい  住みやすいまちづくり	
					上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
					設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。
			現状値 (R5)	バリアフリー教室の実施回数	2回	バリアフリー特定事業の進捗率	55%	香芝市市民アンケート(バリアフリーの推進)について進んでいると感じた人の割合	
目標値 (R10)	バリアフリー教室の実施回数	1回	バリアフリー特定事業の進捗率	74%	/				
目標値 (R14)	バリアフリー教室の実施回数	1回	バリアフリー特定事業の進捗率	100%	香芝市市民アンケート(バリアフリーの推進)について進んでいると感じた人の割合		10.0%		

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	公園道路管理課
-----	---------

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策番号	26	施策名	生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実
当該施策の目指す姿	バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わること/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)
				1次アウトカム		2次アウトカム		
	事務事業名	歩道等バリアフリー化事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます
11,000	段差の解消や視覚障がい者用誘導ブロック・スロープ等の設置により、歩道のバリアフリー化を実施します。		歩道バリアフリー化の要対策箇所に対する整備率	障害者等が安全に通行できる	安全で安心な生活環境の満足度		バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。	
				障害者等の行動範囲が広がる	障害者等の移動等の円滑化			
				上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
				障害者等の利用者数		市民の満足度		
					設定指標	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)
	現状値 (R5)	歩道バリアフリー化の整備率	2,370m					
	目標値 (R10)	歩道バリアフリー化の整備率	4,230m					
	目標値 (R14)	歩道バリアフリー化の整備率	6,000m					

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	土木課
-----	-----

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	
施策番号	26	施策名	生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	①公園整備の推進 ②バリアフリー化の推進 ③地域拠点としての駅周辺整備
当該施策の目指す姿	バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分				
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)			
				1次アウトカム		2次アウトカム					
	事務事業名	既存道路バリアフリー化事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます			
0			香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区内の整備延長累計	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		誰もが暮らしやすい街になる			
				上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補					
						「バリアフリー」に対する市民満足度					
					設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
				現状値 (R5)	香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区内の整備延長累計	230m				「バリアフリー」に対する市民満足度	-
目標値 (R10)	香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区内の整備延長累計	380m									
目標値 (R14)	香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区内の整備延長累計	380m			「バリアフリー」に対する市民満足度	-					

バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	土木課				
政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)		
施策番号	26	施策名	生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	現行の施策の主な取り組み	①公園整備の推進 ②バリアフリー化の推進 ③地域拠点としての駅周辺整備
当該施策の目指す姿	バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)	
					1次アウトカム			2次アウトカム
	事務事業名	駅周辺整備事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
0	・近鉄二上駅周辺整備について調査・検討を行う。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">駅周辺整備率</div> 		上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補 「道路の整備」に対する市民満足度	バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。
		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)			値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
	現状値 (R5)	駅周辺整備率	72%			「公園や駅周辺の整備」に対する市民満足度	-	
	目標値 (R10)	駅周辺整備率	72%					
	目標値 (R14)	駅周辺整備率	76%			「公園や駅周辺の整備」に対する市民満足度	-	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	土木課
-----	-----

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	
施策番号	27	施策名	道路整備の充実	①幹線道路の整備 ②生活道路等の安全性の確保
当該施策の目指す姿		交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。		

事務事業区分				施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)	
				1次アウトカム		2次アウトカム		めざす姿と同じ内容が転記されます	
471,019	事務事業名	主要幹線道路整備事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載  都市計画道路供用済延長	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい  「香芝市スポーツ公園」への安全 なルートの構築とアクセス時間の 短縮			めざす姿と同じ内容が転記されます      交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。
				上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			
				設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)			
				現状値 (R5)	都市計画道路供用済延長	27.3km	「道路の整備」に対する市民満足度		
				目標値 (R10)	都市計画道路供用済延長	28.6km	-		
				目標値 (R14)	都市計画道路供用済延長	30.1km			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	公園道路管理課
-----	---------

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)		
施策番号	27	施策名	道路整備の充実	現在の施策の主な取り組み	①幹線道路の整備 ②生活道路等の安全性の確保
当該施策の目指す姿	交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)		
				1次アウトカム	2次アウトカム			
242,666	事務事業名	道路維持管理補修事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます		
	道路の路面状況等を把握するため、定期的なパトロールを行うとともに、市民から寄せられた情報などをもとに、緊急度の高い路線から維持補修工事を実施します。		道路整備に関する地元要望の達成率	道路の通行の安全性や快適性が向上する	道路の破損に起因した事故が減少する	交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。		
				上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補			
				道路の不具合に関する苦情件数	道路の破損に起因した事故発生件数			
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)
		現状値 (R5)	道路整備に関する地元要望の達成率 84%	道路の不具合に関する苦情件数 10件以上	道路の破損に起因した事故発生件数 1件以上			
		目標値 (R10)	道路整備に関する地元要望の達成率 85%	道路の不具合に関する苦情件数 10件				
		目標値 (R14)	道路整備に関する地元要望の達成率 90%	道路の不具合に関する苦情件数 5件	道路の破損に起因した事故発生件数 0件			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	公園道路管理課
-----	---------

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)		
施策番号	27	施策名	道路整備の充実	現行の施策の主な取り組み	①幹線道路の整備 ②生活道路等の安全性の確保
当該施策の目指す姿	交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分			
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)			
	事務事業名	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム 事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	2次アウトカム 事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます			
53,000	「香芝市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋の安全性・耐用年数の向上を図るため、5年1回の定期点検を実施し、点検結果により修繕が必要になった橋梁の修繕を実施します。		修繕が必要な橋梁の処置完了率		2次アウトカムへ直結		めざす姿と同じ内容が転記されます			
					上記を測るアウトカム指標の候補			予防保全により構造物の寿命が延びる 危険判定の橋梁数が減少し、道路の安全性が向上する		
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		橋梁の不具合が生じる前に予防保全を行った箇所数 橋梁の不具合による利用停止箇所数		交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。	
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値
			現状値 (R5)	修繕が必要な橋梁の処置完了率	100%			橋梁の不具合による利用停止箇所数		0
目標値 (R10)	修繕が必要な橋梁の処置完了率	100%								
目標値 (R14)	修繕が必要な橋梁の処置完了率	100%			橋梁の不具合による利用停止箇所数	0				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	土木課
-----	-----

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)		
施策番号	27	施策名	道路整備の充実	現行の施策の主な取り組み	①幹線道路の整備 ②生活道路等の安全性の確保
当該施策の目指す姿		交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。			

事務事業区分				施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)
				1次アウトカム		2次アウトカム		めざす姿と同じ内容が転記されます
335,724	事務事業名	道路新設改良事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		
	・市内の狭い道路の整備 (拡幅工事等) を推進する。		市道において、新設・改良工事を実施した箇所数	道路拡幅や歩道が整備され、事故が減少する		道路の整備に対する市民満足度		
				上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
				設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		
	現状値 (R5)		市道において、新設・改良工事を実施した箇所数	15か所	「道路の整備」に対する市民満足度		-	
	目標値 (R10)		市道において、新設・改良工事を実施した箇所数	18か所	「道路の整備」に対する市民満足度		-	
目標値 (R14)		市道において、新設・改良工事を実施した箇所数	22か所	「道路の整備」に対する市民満足度		-		

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

政策番号	6	政策名	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	
施策番号	29	施策名	下水道の整備	現行の施策の主な取り組み ①下水道の整備・更新 ②水洗化の促進 ③持続的な下水道機能の確保
当該施策の目指す姿	下水道が安定的に機能し、誰もが衛生的に暮らすことができる。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)		
			1次アウトカム		2次アウトカム				
	事務事業名 公共下水道整備事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後 4年以内に变化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での变化 (波及効果・影響) * 事業の開始後 8年以内に变化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます		
令和5年度予算	・公共下水道の整備 幹線官許の整備を進めるとともに面的整備を進め、供用開始区域の拡大と普及率の向上を図ります。また管路施設の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、施設の更新を行います。  ・水洗化の促進 供用開始区域において、下水道のみ設世帯に対し戸別訪問し、接続の促進を行います。  ・下水道の維持管理 マンホールポンプ施設の計画的な保守点検や、下水排水基準に適合しない汚水を排出する事業所へ指導を行います。	下水道管渠整備延長・件数  既存の下水道管の改修・更新 延長・件数  保守点検件数  定量的調査  啓発活動件数	下水道機能の維持  排水水質の改善  住民の水洗化への関心・理解の向上	水洗化人口の増加  公衆衛生の確保			下水道が安定的に機能し、誰もが衛生的に暮らすことができる。		
		上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補					
		下水道管渠整備件数・改修更新件数・点検件数・問題発生件数 下水道の切替申請数・下水道の普及率・処理人口 下水道の水洗化率・法定水質基準遵守率 啓発実施件数・融資あっせん制度件数 水洗化に関する問い合わせ件数 (工事内容や費用等)		下水道管渠整備件数・改修更新件数・点検件数 管渠等の修繕件数・下水道の切替申請数・下水道の普及率 下水道の水洗化率・法定水質基準遵守率・水洗化人口 啓発実施件数・融資あっせん制度件数 水洗化に関する問い合わせ件数 (工事内容や費用等)					
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
		現状値 (R5)	下水道管渠整備延長 更新・補修された下水道管渠延長 下水道普及率 点検件数 啓発実施件数 定量的調査箇所数	3221m 0m 77.9% 19件 1483件 18箇所	処理人口 点検件数 啓発実施件数 特定事業者法定水質基準遵守率 下水道切替申請数	61,031人 19件 1483件 100% 404件		水洗化人口 流域下水道接続点法定水質基準遵守率	55,727人 100%
目標値 (R10)	下水道管渠整備延長 更新・補修された下水道管渠延長 下水道普及率 点検件数 啓発実施件数 定量的調査箇所数	検討中 検討中 検討中 検討中 検討中 検討中	処理人口 点検件数 啓発実施件数 特定事業者法定水質基準遵守率 下水道切替申請数	検討中 検討中 検討中 検討中 検討中					
目標値 (R14)	下水道管渠整備延長・件数 更新・補修された下水道管渠延長・件数 下水道普及率 点検件数 啓発実施件数 定量的調査箇所数	検討中 検討中 検討中 検討中 検討中 検討中	処理人口 点検件数 啓発実施件数 特定事業者法定水質基準遵守率 下水道切替申請数	検討中 検討中 検討中 検討中 検討中	水洗化人口 流域下水道接続点法定水質基準遵守率	検討中 検討中			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	企画政策課
-----	-------

政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)	
施策番号	30	施策名	行財政運営の最適化	①総合計画・総合戦略の進行管理 ②財政運営の健全化 ③公有財産の維持管理及び活用
当該施策の目指す姿	行政活動に対する検証と改善が行われ、健全な財政基盤のもと、持続可能な行財政運営が実現している。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)		
	事務事業名	総合計画進行管理事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます		
5,274	・総合計画 (総合戦略を含む) に位置付けた事業の行政評価の実施 (事前記入: 6月、事中評価及び説明会: 9月、事後評価: 1月) ・第5次香芝市総合計画 (「中期基本計画」及び「(仮) 香芝市デジタル田園都市国家構想総合戦略」) の策定 ・都市経営市民会議の開催 (計4回、総合計画策定関係の審議等) ・第5次総合計画策定に係る市民アンケート調査 (6月)、中学生アンケート (6月)、パブリックコメント (12月) 等 ・ロジックモデル作成に係る研修及び説明会、所管ヒアリングの実施 (6月~8月)		行政評価の実施		事務事業改善が行われている	持続可能な行財政運営ができています		行政活動に対する検証と改善が行われ、健全な財政基盤のもと、持続可能な行財政運営が実現している。	
			都市経営市民会議における行政評価の審議		最適な行政評価が行われている				
			行政評価手法の見直し						
			行政評価結果の公表						
				上記を測るアウトカム指標の候補 (1)スクラップ&ビルドの件数 (2)行政改革に資する取組の累計件数×R元年度 (3)最適な行政評価が行われていると判断する都市経営市民会議委員の割合	上記を測るアウトカム指標の候補 (1)市民アンケートにおける行政全般の総合評価 (2)財政指標				
				設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)				
		現状値 (R5)	(1)行政評価の実施回数 (2)都市経営市民会議による行政評価の審議回数 (3)行政評価手法の見直し回数 (4)行政評価の公表回数	(1)3回 (2)3回 (3)1回 (4)1回	(1)スクラップ&ビルドの件数 (2)行政改革に資する取組の累計件数×R元年度 (3)最適な行政評価が行われていると判断する都市経営市民会議委員の割合	(1)24件 (2)10件 (3)-	(1)市民アンケートにおける行政全般の総合評価で満足していると回答している人の割合 (2)財政指標	(1)72.8% (2)-	
		目標値 (R10)	(1)行政評価の実施回数 (2)都市経営市民会議による行政評価の審議回数 (3)行政評価手法の見直し回数 (4)行政評価の公表回数	(1)3回 (2)3回 (3)1回 (4)1回	(1)スクラップ&ビルドの件数 (2)行政改革に資する取組の累計件数×R元年度 (3)最適な行政評価が行われていると判断する都市経営市民会議委員の割合	(1)30件 (2)8件 (3)80%			
		目標値 (R14)	(1)行政評価の実施回数 (2)都市経営市民会議による行政評価の審議回数 (3)行政評価手法の見直し回数 (4)行政評価の公表回数	(1)3回 (2)3回 (3)1回 (4)1回	(1)スクラップ&ビルドの件数 (2)行政改革に資する取組の累計件数×R元年度 (3)最適な行政評価が行われていると判断する都市経営市民会議委員の割合	(1)30件 (2)8件 (3)100%	(1)市民アンケートにおける行政全般の総合評価で満足していると回答している人の割合 (2)財政指標	(1)90% (2)-	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	管財課
-----	-----

政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策番号	30	施策名	行財政運営の最適化
当該施策の目指す姿	行政活動に対する検証と改善が行われ、健全な財政基盤のもと、持続可能な行財政運営が実現している。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)		
	事務事業名	公有財産維持管理事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます		
91	<p>公共施設等総合管理計画等に基づいて、良質で持続可能な公共施設サービスを提供を目指す。</p> <p>管財課では公共施設等管理計画の見直し(10年毎の計画見直しと5年毎の計画改訂)を行うと共に、公有財産活用検討委員会において、各分野における取組の全体的な進行管理と課題調整だけでなく、公有財産の有効活用や適切な処分についても検討することとしている。</p> <p>なお、公共施設等総合管理計画の施設類型別方針に基づいた個別施設計画の策定は完了しているため、今後は個別施設計画を策定した施設所管課に対して公共施設再編計画等を通じ個別施設計画の進捗確認や計画改訂の支援を行う。</p>		<p>保全計画に基づく日常点検(毎月)の取りまとめと所管課へのフィードバック</p> <p>公共施設再編計画等を通じた個別施設計画の進捗確認</p> <p>公有財産活用検討委員会の開催</p>		<p>事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい</p>			<p>事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい</p>	
					<p>中規模改修、大規模改修、長寿命化改修の実施</p> <p>未利用公有地の有効活用・売却</p>		<p>計画的な改修等による施設の長寿命化</p> <p>歳入の確保</p> <p>未利用資産の圧縮</p>		
					上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設再編計画等に基づく中規模改修、大規模改修長寿命化改修の完了済件数</li> <li>・未利用公有地の売却数</li> <li>・未利用公有地の有効活用数</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設再編計画等に基づく中規模改修、大規模改修長寿命化改修の完了率</li> <li>・未利用公有地の売却金額</li> <li>・公有財産に占める普通財産の土地面積割合</li> </ul>		
						設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
	現状値 (R5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日常点検報告率 ①68%</li> <li>② 公有財産活用検討委員会開催回数 ②6回</li> <li>③ 整備計画ヒアリングにおける公共施設再編計画等に基づく中規模改修、大規模改修、長寿命化改修完了済件数 ③0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公共施設再編計画等に基づく中規模改修、大規模改修、長寿命化改修完了済件数 ①0件</li> <li>② 未利用公有地の売却数 ②3件</li> <li>③ 未利用公有地の有効活用数 ③0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公共施設再編計画等に基づく中規模改修、大規模改修、長寿命化改修の完了率 ①0%</li> <li>② 未利用公有地の売却金額、新規貸借金額 ②4,520千円</li> <li>③ 公有財産に占める普通財産の土地面積割合 (普通財産土地/公有財産土地) ③4.15%</li> </ul>					
	目標値 (R10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日常点検報告率 ①100%</li> <li>② 公有財産活用検討委員会開催回数 ②3回</li> <li>③ 第2期公共施設再編計画等に基づく中規模改修、大規模改修、長寿命化改修完了済件数 ③第2期公共施設再編計画等において設定予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公共施設再編計画等に基づく中規模改修、大規模改修、長寿命化改修完了済件数 ①第2期公共施設再編計画等において設定予定</li> <li>② 未利用公有地の売却数 ②6件</li> <li>③ 未利用公有地の有効活用数 ③1件</li> </ul>						
	目標値 (R14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日常点検報告率 ①100%</li> <li>② 公有財産活用検討委員会開催回数 ②3回</li> <li>③ 整備計画ヒアリングにおける公共施設再編計画等に基づく中規模改修、大規模改修、長寿命化改修完了済件数 ③第2期公共施設再編計画等において設定予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公共施設再編計画等に基づく中規模改修、大規模改修、長寿命化改修完了済件数 ①第2期公共施設再編計画等において設定予定</li> <li>② 未利用公有地の売却数 ②8件</li> <li>③ 未利用公有地の有効活用数 ③2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公共施設再編計画等に基づく中規模改修、大規模改修、長寿命化改修の完了率 ①第2期公共施設再編計画等において設定予定</li> <li>② 未利用公有地の売却金額、新規貸借金額 ②25,026千円</li> <li>③ 公有財産に占める普通財産の土地面積割合 (普通財産土地/公有財産土地) ③4.15%</li> </ul>					

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	納税促進課				
政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)		
施策番号	31	施策名	歳入の確保と財源の創出	現行の施策の主な取り組み	①適正課税の推進および収納(徴収)率の向上 ②財産調査の強化と適正な債権管理 ③自主財源の確保
当該施策の目指す姿	市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)
			1次アウトカム		2次アウトカム		
	事務事業名 (税) 自主納付推進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での变化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます
24,662	<p>口座振替やコンビニ納付などの既存の納付方法に加え、キャッシュレス決済などの電子納付環境を整備することで、時間や場所に捉われない納付方法を提供し、納付意欲の向上を図ります。</p> <p>・ページー口座振替の奨励及びスマホ決済やQRコードを活用した電子納付の奨励 (HP、広報、広報お知らせ版、各種通知書 (18,000枚) への折込) ・コンビニ収納の啓発、コールセンターによる電話催告 (9500件) ・現年度課税分の催告の通知 (1800件) 及び差押え等滞納処分の執行 (104件)</p>	口座振替数の推進	口座振替割合	期限内納付件数の増加			市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。
		スマホ決済やQRコード等の電子納付の広報	電子納付割合	現年度徴収率の増加			
		コールセンターによる電話催告通知率	現年滞納者の年度内納付率	現年分の滞納繰越額の減少			
		現年度課税分の滞納処分率	上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
	現状値 (R5)	電子納付推進チラシ配布数 1800枚 催告通知率 100% 現年課税分の滞納処分率 2.5%	口座振替割合 22.8% 電子納付割合 9.9% 現年滞納者の年度内納付率 53.6%	市税収納率 (現年分) 98.9%			
	目標値 (R10)	電子納付推進チラシ配布数 1800枚 催告通知率 100% 現年課税分の滞納処分率 3.0%	口座振替割合 24.0% 電子納付割合 13.0% 現年滞納者の年度内納付率 58.0%	/			
	目標値 (R14)	電子納付推進チラシ配布数 1800枚 催告通知率 100% 現年課税分の滞納処分率 3.5%	口座振替割合 25.0% 電子納付割合 16.0% 現年滞納者の年度内納付率 63.0%				市税収納率 (現年分) 99.3%

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	保険料収納課
政策番号	7
政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策番号	31
施策名	歳入の確保と財源の創出
当該施策の目指す姿	市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わること/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)
			1次アウトカム		2次アウトカム		
	事務事業名 (保険料) 自主納付推進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます
9143	【現年保険料収納率の向上】 ・口座振替登録の推進し納付忘れ等による未納を防止する。 ・夜間窓口を開設し、納付相談の機会を増やす。 ・現年度保険料未納者に対する一斉催告を行い自主納付を促す。 ・コールセンターによる電話催告を行い自主納付を促す。 ・分納の案内文書を送付し、早期の納付相談を促す。 ・納付相談に際、必要に応じて分納を案内し年度内に保険料を完納できるように導く。 ・納付相談の際、執行停止候補者については現年保険料を優先して納付計画を立てる。 ・未納者に滞納処分とは何かを明示し、未納状態が続くことに対するリスクについて理解を促す。 ・現年度保険料について滞納処分を行い、その後の自主納付を促す。 ・QRコード決済等納付方法の拡充 (R7年以降)	口座振替勧奨通知の送付件数	口座振替により納付忘れが防止できている	現年度保険料の収納率の向上			
		分納案内文書の送付件数	市民に対して分納の機会提供ができています				
		夜間窓口実施回数	市民の自主納付に対する意識が高まっている				
		夜間窓口の周知文書の送付件数					
		現年保険料未納者に対する電話催告の実施率					
		現年保険料未納者に対する催告書の送付率					
		滞納処分について説明した文書の送付件数					
		預金調査後、現年滞納処分対象者に処分を実施した割合					
			上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補			
			口座振替登録者数、分納相談件数、分納誓約件数、督促状の発行件数の減少率、督促状対象者のうち納付した者の割合、電話催告後の対象者納付率、催告書送付後の対象者の納付率、滞納処分後の対象者の納付率、夜間窓口利用者数、現年度保険料の収納率	現年度保険料の収納率			
			設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
		現状値 (R5)	口座振替勧奨通知の送付件数 夜間窓口の周知文書の送付件数 夜間窓口実施回数 分納案内文書の送付件数 電話催告対象者に対する電話催告の実施率 (架電件数/架電対象者数) 現年保険料未納者に対する催告書の送付率 (送付件数/未納者数) 滞納処分について説明した文書の送付件数 預金調査後、現年滞納処分対象者に処分を実施した割合	7,175件 1,055件 12回 0件 63%(1,985/3,140) 100%(891/891) 891件 -	口座振替登録者数 分納相談件数 督促状対象者のうち納付した者の割合 現年度保険料の収納率	6,561人 362件 41%(3,011/7,175) 93.45%	現年度保険料の収納率 93.45%
		目標値 (R10)	口座振替勧奨通知の送付件数 夜間窓口の周知文書の送付件数 夜間窓口実施回数 分納案内文書の送付件数 電話催告対象者に対する電話催告の実施率 (架電件数/架電対象者数) 現年保険料未納者に対する催告書の送付率 (送付件数/未納者数) 滞納処分について説明した文書の送付件数 預金調査後、現年滞納処分対象者に処分を実施した割合	10,000件 5,000件 12回 2,000件 68% 100% 1,000件 100%	口座振替登録者数 分納相談件数 督促状対象者のうち納付した者の割合 現年度保険料の収納率	7,500人 500件 50% 95.80%	
		目標値 (R14)	口座振替勧奨通知の送付件数 夜間窓口の周知文書の送付件数 夜間窓口実施回数 分納案内文書の送付件数 電話催告対象者に対する電話催告の実施率 (架電件数/架電対象者数) 現年保険料未納者に対する催告書の送付率 (送付件数/未納者数) 滞納処分について説明した文書の送付件数 預金調査後、現年滞納処分対象者に処分を実施した割合	10,000件 5,000件 12回 2,000件 75% 100% 1,000件 100%	口座振替登録者数 分納相談件数 督促状対象者のうち納付した者の割合 現年度保険料の収納率	8,500人 700件 65% 96.60%	現年度保険料の収納率 96.60%
							市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	税務課
-----	-----

政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策番号	31	施策名	歳入の確保と財源の創出
当該施策の目指す姿	市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)
	事務事業名	市民税・固定資産税の課税適正化事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます
210	・市民税 (個人及び法人) 及び固定資産税 (償却資産) 未申告者の捕捉及び申告勧奨 ・扶養控除等の申告内容の適正化 ・未評価家屋の解消	個人市民税の未申告者に対し申請書を発送している。 法人市民税が未申告であると思われる法人に調査を実施している。 未評価家屋の解消に向けた調査及び評価を実施している。 償却資産が未申告者であると思われる所有者に申告勧奨を実施している。	個人市民税の未申告者に対し申請書を発送している。 法人市民税が未申告であると思われる法人に調査を実施している。 未評価家屋の解消に向けた調査及び評価を実施している。 償却資産が未申告者であると思われる所有者に申告勧奨を実施している。		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい 市民税及び固定資産税台帳登録率の増加	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい 適正で公正公平な課税により、歳入が確保できる	
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
			・各税目の台帳登録件数 ・未申告者にかかる申告書提出件数 ・未評価家屋にかかる新規課税件数 ・未申告の償却資産申告件数		・市税の調定額 ・市の財源に余裕が生まれる (経常収支比率・実質公債費比率)		
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
	現状値 (R5)	個人市民税の申告書発送件数	679件	個人市民税の申告捕捉率	99%	市民税 (現年課税分) 調定見込額に対する調定額	100%
	目標値 (R10)	個人市民税の申告書発送件数	1000件	個人市民税の申告捕捉率	100%		
	目標値 (R14)	個人市民税の申告書発送件数	1000件	個人市民税の申告捕捉率	100%	市民税 (現年課税分) 調定見込額に対する調定額	100%

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	納税促進課				
政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)		
施策番号	31	施策名	歳入の確保と財源の創出	現在の施策の主な取り組み	①適正課税の推進および収納(徴収)率の向上 ②財産調査の強化と適正な債権管理 ③自主財源の確保
当該施策の目指す姿	市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分			
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)			
			1次アウトカム		2次アウトカム					
	事務事業名 (税) 滞納整理適正化事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます			
2,451	預貯金や生命保険などの換価可能な財産の調査および消滅時効の管理を行い、差押え・換価・執行停止などを適正に行います。  ・速やかな財産調査と滞納処分 (30000件) ・適正な分納計画の履行 (800件) ・適正な執行停止の遂行 (300件)		上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。			
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
			現状値 (R5)	差押予告の発送率 滞納処分率 適正な執行停止	8.6% 6.3% 100%	滞納繰越者数		2454人	滞納繰越額分の徴収率	22.2%
			目標値 (R10)	差押予告の発送率 滞納処分率 適正な執行停止	10.0% 8.0% 100%	滞納繰越者数		2300人		
	目標値 (R14)	差押予告の発送率 滞納処分率 適正な執行停止	12.0% 10.0% 100%	滞納繰越者数	2200人	滞納繰越額分の徴収率	30%			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	保険料収納課				
政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)		
施策番号	31	施策名	歳入の確保と財源の創出	現行の施策の主な取り組み	①適正課税の推進および収納(徴収)率の向上 ②財産調査の強化と適正な債権管理 ③自主財源の確保
当該施策の目指す姿	市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分					
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)					
	事務事業名	(保険料) 滞納整理適正化事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます					
734	【滞納保険料収納率の向上】 ・時効に限らず、定期的に滞納者に催告書を送付する。 ・早期に財産調査を行い、必要に応じて滞納処分を実施する。 ・執行停止制度を運用し、見込みのない滞納者の債権を放棄することで、他の滞納者にリソースを割けるようにする。		催告書の送付件数		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます				
			預金調査後、滞納処分対象者に処分を実施した割合				滞納保険料の収納率の向上		滞納保険料の減少 滞納者数の減少			
			預金調査後、執行停止候補者を執行停止した割合		上記を測るアウトカム指標の候補			上記を測るアウトカム指標の候補				
					設定指標		値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値
			現状値 (R5)	催告書の送付件数 滞納処分対象者のうち滞納処分を実施した者の割合 執行停止候補者のうち執行停止した者の割合	2,746件 — 100%	滞納保険料の収納率	27.19%	滞納保険料額 滞納者数	155,617,279円 748人			
目標値 (R10)	催告書の送付件数 滞納処分対象者のうち滞納処分を実施した者の割合 執行停止候補者のうち執行停止した者の割合	3,000件 100% 100%	滞納保険料の収納率	30%	/							
目標値 (R14)	催告書の送付件数 滞納処分対象者のうち滞納処分を実施した者の割合 執行停止候補者のうち執行停止した者の割合	3,500件 100% 100%	滞納保険料の収納率	32%			滞納保険料額 滞納者数	85,000,000円 550人				

市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	企画政策課
-----	-------

政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策番号	31	施策名	歳入の確保と財源の創出
当該施策の目指す姿	市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。		
		現在の施策の主な取り組み	①適正課税の推進および収納(徴収)率の向上 ②財産調査の強化と適正な債権管理 ③自主財源の確保

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)	
	事務事業名	ふるさと寄附金事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます	
153,276	・ふるさと納税協力事業者の新規獲得(令和6年度登録事業者5件増) ・ふるさと納税返礼品の拡充およびブラッシュアップ(令和6年度登録返礼品20件増) ・ふるさと納税(企業版ふるさと納税を含む)のPR(広報誌への掲載(6月)、パンフレットの送付(8月)、返礼品の展示(8月~12月)) ・企業版ふるさと納税のメニュー化(5月)	ふるさと寄附金事業	協力事業者新規獲得のための周知		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象(間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化(波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。
			返礼品拡充のための事業者への提案		魅力ある返礼品の拡充	歳入の確保		
			ポータルサイトの新規導入を含めた見直し		寄附者の利便性向上			
			企業版ふるさと納税事業メニューのPR		企業版ふるさと納税の問合せ増加			
					上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補	
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
		現状値 (R5)	(1)事業者募集の広報等の回数 (2)商工会を通じた事業者募集の回数 (3)既存返礼品のリファインを含めた提案数 (4)ポータルサイト見直し回数 (5)企業版ふるさと納税PRパンフ発送件数 (6)協議会を通じたPR動画UP総数	(1)1回 (2)1回 (3)5回 (4)5回 (5)30社 (6)3本	(1)登録協力事業者数 (2)返礼品数 (3)既存返礼品のリファイン率 (4)ポータルサイトによる寄附件数 (5)企業版ふるさと納税の問合せ件数	(1)74 (2)471 (3)- (4)- (5)-	(1)ふるさと寄附金額 (2)企業版ふるさと納税額	(1)60,104,275円 (2)1,100,000円
		目標値 (R10)	(1)事業者募集の広報等の回数 (2)商工会を通じた事業者募集の回数 (3)既存返礼品のリファインを含めた提案数 (4)ポータルサイト見直し回数 (5)企業版ふるさと納税PRパンフ発送件数 (6)協議会を通じたPR動画UP総数	(1)1回 (2)1回 (3)5回 (4)5回 (5)50社 (6)5本	(1)登録協力事業者数 (2)返礼品数 (3)既存返礼品のリファイン率 (4)ポータルサイトによる寄附件数 (5)企業版ふるさと納税の問合せ件数	(1)100 (2)600 (3)- (4)- (5)-		
		目標値 (R14)	(1)事業者募集の広報等の回数 (2)商工会を通じた事業者募集の回数 (3)既存返礼品のリファインを含めた提案数 (4)ポータルサイト見直し回数 (5)企業版ふるさと納税PRパンフ発送件数 (6)協議会を通じたPR動画UP総数	(1)1回 (2)1回 (3)5回 (4)5回 (5)60社 (6)10本	(1)登録協力事業者数 (2)返礼品数 (3)既存返礼品のリファイン率 (4)ポータルサイトによる寄附件数 (5)企業版ふるさと納税の問合せ件数	(1)120 (2)750 (3)- (4)- (5)-	(1)ふるさと寄附金額(単年) (2)企業版ふるさと納税額(期間総額)	(1)100,000千円 (2)1,500,000千円

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	秘書広報課
-----	-------

政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策番号	32	施策名	情報とICTの利活用
当該施策の目指す姿	ICTを活用し、市民がそれぞれのニーズに合った方法で情報やサービスを利用できている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)	
			1次アウトカム		2次アウトカム		めざす姿と同じ内容が転記されます	
	事務事業名	広報事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での变化 (波及的効果・影響) *事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
17,455	以下の事務事業を統合する予定としています。 ●広報紙発行事業 (15,545,000円) ●広報及び報道機関連携事業 (1,910,000円)  広報紙や様々なSNSを駆使し、市政情報を分かりやすく、迅速に発信し、市内外へ広く香芝市の魅力を伝えます。 また、メディアや報道機関への情報提供の際も、より取り上げられやすい手法を研究し、市の取組やイベントの紹介を通じて、市のイメージや知名度の向上を図ります。	市ホームページ広報紙の閲覧勧奨回数	市ホームページ広報紙の閲覧回数が増える。	市政情報をHPやSNS等から得ている人の割合が増える。	ICTを活用し、市民がそれぞれのニーズに合った方法で情報やサービスを利用できている。 市の魅力が内外に発信できており、シビックプライドの醸成につながっている。			
		広報紙掲載記事等のニーズ調査の回数	LINEの登録数が増える。	市の魅力を伝えることで、市に愛着を感じる人が増える。				
		LINEによる発信回数	X・Youtube等の登録数が増える。	積極的に香芝市を選んで転入してきた人の割合が増える。				
		X・Youtube等による発信回数 (市外への情報発信)	新聞記事等で取り上げられる数が増える。					
		プレスリリース件数						
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			
			市ホームページ広報閲覧回数 広報紙を魅力的と感じる人の割合 LINEの登録者数 X・Youtube等の登録者数 新聞での掲載件数と掲載記事数	市ホームページ広報閲覧回数 1,082 広報紙を魅力的と感じる人の割合 33,953 LINEの登録者数 784 X・Youtube等の登録者数 25 新聞での掲載件数 53	市政情報をHPやSNS等から得ている人の割合 市民アンケートによる市に愛着を感じる人の割合 積極的に香芝市を選んで転入してきた人の割合	(R2:75.6%)		
	設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		
	現状値 (R5)	市ホームページ広報の閲覧勧奨回数 23 広報紙掲載記事等のニーズ調査の回数 1 LINEでの発信等回数 104 X・Youtube等での発信等回数 92 プレスリリース件数 49	市ホームページ広報閲覧回数(月平均) 1,082 LINEの登録者数 33,953 X・Youtube等の登録者数 784 新聞での掲載件数 25 新聞での掲載記事数 53	市政情報をHPやSNS等から得ている人の割合 市に愛着を感じる人の割合 積極的に香芝市を選んで転入してきた人の割合	- (R2:75.6%) -			
	目標値 (R10)	市ホームページ広報の閲覧勧奨回数 24 広報紙掲載記事等のニーズ調査の回数 3 LINEでの発信等回数 110 X・Youtube等での発信等回数 260 プレスリリース件数 60	市ホームページ広報閲覧回数(月平均) 1,100 LINEの登録者数 35,000 X・Youtube等の登録者数 1,000 新聞での掲載件数 30 新聞での掲載記事数 60					
	目標値 (R14)	市ホームページ広報の閲覧勧奨回数 24 広報紙掲載記事等のニーズ調査の回数 6 LINEでの発信等回数 120 X・Youtube等での発信等回数 360 プレスリリース件数 70	市ホームページ広報閲覧回数(月平均) 1,200 LINEの登録者数 38,000 X・Youtube等の登録者数 1,500 新聞での掲載件数 35 新聞での掲載記事数 70	市政情報をHPやSNS等から得ている人の割合 市に愛着を感じる人の割合 積極的に香芝市を選んで転入してきた人の割合	-% 82% -%			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	ICT推進課
-----	--------

政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策番号	32	施策名	情報とICTの利活用
当該施策の目指す姿	ICTを活用し、市民がそれぞれのニーズに合った方法で情報やサービスを利用できている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分			
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動成果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)			
	事務事業名	ICT活用事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的成果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム				
18,450	・行政手続きのデジタル化 電子申請サービスのプラットフォームを運用管理し、各業務の所管と協力を図りながら住民に向けて様々な電子申請を提供する。 窓口のデジタル化により利用者の負担を低減したスマートな窓口を提供する。  ・ICT導入ヒアリング 各所管ICTの導入計画を精査し、予算要求の適正化を図る。  ・オープンデータ 市が持つ情報をオープンデータとして広く一般に公開し、社会経済活動へ役立てる。	電子申請可能な手続きの数  書かない窓口対象手続きの数  ICT導入ヒアリングによる計画見直し件数  オープンデータ公開件数	取組が実施されたことを示す事実 (直接的成果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます          ICTを活用し、市民がそれぞれのニーズに合った方法で情報やサービスを利用できている。			
					上記を測るアウトカム指標の候補 電子申請利用者の割合 書かない窓口受付件数 各課のICT導入件数 オープンデータ公開ページの閲覧件数	上記を測るアウトカム指標の候補 来庁者数 来庁者の滞在時間 市民アンケートによる満足度 オープンデータを活用したサービスの件数				
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
			現状値 (R5)	電子申請可能手続き件数 書かない窓口対象手続き数 ICTヒアリングによる改善件数 オープンデータ公開	150件 — 5件 18件	電子申請利用者の割合 各課のICT導入件数 オープンデータ公開ページの閲覧件数		— — —	来庁者の滞在時間 市民アンケートによる満足度	— —
			目標値 (R10)	電子申請可能手続き件数 書かない窓口対象手続き数 ICTヒアリングによる改善件数 オープンデータ公開	200件 130件 10件 18件	申請全体のうち電子申請の割合 書かない窓口での申請受付件数 ICT導入ヒアリングによる計画見直し件数 オープンデータ公開ページの閲覧件数		— — — —		
目標値 (R14)	電子申請可能手続き件数 書かない窓口対象手続き数 ICTヒアリングによる改善件数 オープンデータ公開	240件 150件 15件 18件	申請全体のうち電子申請の割合 書かない窓口での申請受付件数 ICT導入ヒアリングによる計画見直し件数 オープンデータ公開ページの閲覧件数	— — — —	来庁者の滞在時間 市民アンケートによる満足度	— —				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	ICT推進課
-----	--------

政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策番号	32	施策名	情報とICTの利活用
当該施策の目指す姿	ICTを活用し、市民がそれぞれのニーズに合った方法で情報やサービスを利用できている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動成果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)		
	事務事業名	情報セキュリティ対策事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的成果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます		
24,825	・情報セキュリティの維持管理 セキュリティ対策システムの導入やシステム停止が発生しにくい環境を整備し、安定したシステム運用により行政サービスを維持する。  ・情報セキュリティ研修 職員に対し毎年1回以上のセキュリティ研修を受講させ、情報セキュリティに係る意識の向上を図る。		機器の冗長化、データのバックアップ等、システム停止を防ぐ対策を新たに施した件数		システム停止時間の減少	利用者からの情報システムに係る問い合わせ件数の減少		市が保有する情報資産をさまざまな脅威から保護し、デジタル技術の活用が進む中においても、市民が安心して生活を送ることができる。	
			セキュリティ対策ソフト導入端末の割合		コンピュータウイルス感染件数の減少	情報セキュリティインシデント件数の減少			
			情報セキュリティ研修の開催件数		情報セキュリティに対する意識の向上				
			情報セキュリティ研修の受講割合		上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
					情報システムダウンタイム コンピュータウイルス感染件数 情報セキュリティに関する職員意識調査		市民からの問い合わせ件数の減少 情報セキュリティインシデント件数		
		設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		
現状値 (R5)		情報システム可用性増強件数 ウイルス対策導入端末数の割合 情報セキュリティ研修の開催件数 情報セキュリティ研修の受講割合	— 100% 3件 100%	情報システムのダウンタイム コンピュータウイルス感染件数 情報セキュリティに関する職員意識調査	99%未満 0件 —	情報セキュリティインシデント件数	0件		
目標値 (R10)		情報システム可用性増強件数 ウイルス対策導入端末数の割合 情報セキュリティ研修の開催件数 情報セキュリティ研修の受講割合	— 100% 4件 100%	情報システムのダウンタイム コンピュータウイルス感染件数 情報セキュリティに関する職員意識調査	99%未満 0件 —	/			
目標値 (R14)		情報セキュリティ研修の開催件数 情報セキュリティ研修の受講割合 情報システム可用性増強件数	— 100% 5件 100%	情報システムのダウンタイム コンピュータウイルス感染件数 情報セキュリティに関する職員意識調査	99.9%未満 0件 —	情報セキュリティインシデント件数	0件		

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	人事課
-----	-----

政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)		
施策番号	33	施策名	行政組織の活性化・組織力の強化	現在の施策の主な取り組み	①適正な人事評価 ②職員研修の推進 ③効果的な人員配置
当該施策の目指す姿	付加価値の高い行政サービスが提供できるよう、職員一人ひとりが知識・技能・意欲の向上に努めている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)		
	事務事業名	人事評価適正化事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます		
0	評価指標の細分化や適正化を進め、公正な人事評価を実現するとともに、これを昇任等に確実に反映します。  ・人事評価の目的（職員の能力開発・人材育成、コミュニケーションによる組織の活性化等）及び公正性の確保の重要性について、全職員に継続して周知を図る。	新たに評価者となった職員に対する人事評価制度についての説明会や研修の実施  被評価者に対する人事評価制度についての説明会や研修の実施			事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		付加価値の高い行政サービスが提供できるよう、職員一人ひとりが知識・技能・意欲の向上に努めている。	
					適切な評価を行う上での上級職員の意識及び指導力向上	適切な評価を受けることによる職員のモチベーション向上	職員全体の評価結果のボトムアップ		
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補				
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
	現状値 (R5)	新たに評価者となった職員に対する人事評価制度についての説明会や研修の実施回数 被評価者に対する人事評価制度についての説明会や研修の実施回数	- -	-	人事評価に関する理解度やモチベーションについてのアンケート結果	-			
	目標値 (R10)	新たに評価者となった職員に対する人事評価制度についての説明会や研修の実施回数 被評価者に対する人事評価制度についての説明会や研修の実施回数	1回 1回	1回 1回	人事評価に関する理解度やモチベーションについてのアンケート結果	「良い」相当以上が80%			
	目標値 (R14)	新たに評価者となった職員に対する人事評価制度についての説明会や研修の実施回数 被評価者に対する人事評価制度についての説明会や研修の実施回数	1回 1回	1回 1回	人事評価に関する理解度やモチベーションについてのアンケート結果	「良い」相当以上が90%			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	人事課
-----	-----

政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策番号	33	施策名	行政組織の活性化・組織力の強化
当該施策の目指す姿	付加価値の高い行政サービスが提供できるよう、職員一人ひとりが知識・技能・意欲の向上に努めている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分			
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)			
	事務事業名	研修推進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます			
2,878	職員の法務能力等の向上を目指し、法務研修を企画・実施するとともに、その他必要となる研修についても企画検討し、進めていく。研修後には、知識の定着度の確認や、今後の研修内容の検討のためのアンケートを実施する。 なお、法務研修の内容については、昇級試験の出題範囲とする。	研修推進事業	職員に対する法務研修の実施		職員の法務能力の向上	職場全体の法務能力の向上		めざす姿と同じ内容が転記されます		
			各種研修の受講の斡旋		職員の各種能力の向上	多様な技能を持つ職員の育成				
					上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補				
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
			現状値 (R5)	人事課主催の法務研修の実施回数 (対象者1人あたり) 各種研修の受講機会の案内回数 (市町村職員研修センター・JIAMほかの主催を含む)	3回 106回	各種研修の参加者数	845人			
目標値 (R10)	人事課主催の法務研修の実施回数 (対象者1人あたり) 各種研修の受講機会の案内回数 (市町村職員研修センター・JIAMほかの主催を含む)	3回 106回	各種研修の参加者数	初期値から毎年度 プラス5% (1,078人)						
目標値 (R14)	人事課主催の法務研修の実施回数 (対象者1人あたり) 各種研修の受講機会の案内回数 (市町村職員研修センター・JIAMほかの主催を含む)	3回 106回	各種研修の参加者数	初期値から毎年度 プラス5% (1,310人)						

付加価値の高い行政サービスが提供できるよう、職員一人ひとりが知識・技能・意欲の向上に努めている。

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	人事課
-----	-----

政策番号	7	政策名	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)		
施策番号	33	施策名	行政組織の活性化・組織力の強化	現在の施策の主な取り組み	①適正な人事評価 ②職員研修の推進 ③効果的な人員配置
当該施策の目指す姿	付加価値の高い行政サービスが提供できるよう、職員一人ひとりが知識・技能・意欲の向上に努めている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)
	事務事業名	心身のヘルスケア推進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます
0	<p>【心のヘルスケア】 本人またはその上司・同僚等から職員の不調につながる事案の通報があった場合に、必要と考えられる場合に本人を含む関係人へヒアリング調査を行い、本人へのフォローアップと不調因子の改善、その発生の防止を図ります。</p> <p>・働きやすい職場環境の実現のために、高ストレス者に対する面談を産業医と連携を図りながら適宜行うとともに、超過勤務時間の多い職員や所属に対して積極的にヒアリングを行う。</p> <p>【身体のヘルスケア】 超過勤務の実態把握に努め、適宜、適切となるよう人員の配置を見直します。</p> <p>・1月あたりの超過勤務時間数が80時間を超える職員など長時間勤務を行っている職員に対してヒアリングを行う。</p>	<p>高ストレス者に対する面談の実施</p> <p>各月の超過勤務時間数に基づく長時間勤務職員へのヒアリングの実施</p> <p>長時間勤務職員が所属する所属長へのヒアリング実施</p>	<p>事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい</p>		<p>事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい</p>		
			<p>メンタルヘルス不調者の減少</p> <p>職員1人あたりの超過勤務時間数の減少</p>		<p>職場で意欲を持って働ける人の増加</p>		
			<p>上記を測るアウトカム指標の候補</p> <p>選挙や災害対応を除く超過勤務の総時間数 病気休暇取得者数</p>		<p>上記を測るアウトカム指標の候補</p>		
			<p>設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)</p> <p>値</p>		<p>設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)</p> <p>値</p>		
現状値 (R5)	各月の超過勤務時間数に基づく長時間勤務職員へのヒアリング 長時間勤務職員が所属する所属長へのヒアリング	不定期 不定期	メンタルヘルス不調による病気休暇取得者数 選挙や災害対応を除く職員1人あたり (超過勤務未実施者は除く) の超過勤務時間数	13人 114時間	ストレスチェックにおける職場環境に関する指標の結果	—	
目標値 (R10)	各月の超過勤務時間数に基づく長時間勤務職員へのヒアリング 長時間勤務職員が所属する所属長へのヒアリング	年4回 年4回	メンタルヘルス不調による病気休暇取得者数 選挙や災害対応を除く職員1人あたり (超過勤務未実施者は除く) の超過勤務時間数	3人 114時間	/		
目標値 (R14)	各月の超過勤務時間数に基づく長時間勤務職員へのヒアリング 長時間勤務職員が所属する所属長へのヒアリング	年4回 年4回	メンタルヘルス不調による病気休暇取得者数 選挙や災害対応を除く職員1人あたり (超過勤務未実施者は除く) の超過勤務時間数	0人 114時間			「良い」相当 以上が100%